長期ビジョン策定に向けた
ＷＥＢアンケート調査
報告書

調査項目

現在に関すること

自身と市の将来に関すること

結婚に関すること

出産・子の誕生に関すること

子育てに関すること

令和３年（2021 年）

八 王 子 市

目　　次

I　調査の概要 1
　1．　調査目的 3
　2．　調査設計 3
　3．　調査項目 3
　4．　回収結果 3
　5．　報告書の見方 3
II　回答者の属性 5
III　調査結果 11
　1．　現在に関すること 13
　　（1）　注目していること・関心があること 13
　　（2）　挑戦したいこと・行動に移したいこと 15
　　（3）　挑戦したいこと・行動に移したいことへの支障 17
　　（4）　疑問に感じていること・理不尽に思うこと 19
　2．　自身と市の将来に関すること 21
　　（1）　将来（2040 年頃）の理想の暮らし 21
　　（2）　将来（2040 年頃）に向けて市が力を入れるべき分野 23
　3．　結婚に関すること 24
　　（1）　結婚の状況 24
　　（2）　結婚（再婚）願望 24
　　（3）　結婚していない理由 25
　　（4）　結婚を望まない理由 26
　　（5）　結婚生活についての不安 27
　　（6）　結婚支援において重要な施策 28
　4．　出産・子の誕生に関すること 29
　　（1）　希望する子どもの人数 29
　　（2）　子どもを欲しくない理由 29
　　（3）　実際の子どもの人数 30
　　（4）　子どもを増やすことに対する考え方 30
　　（5）　子どもを増やさない（増やせない）理由 31
　　（6）　希望どおり子どもを持てるために必要なこと 32
　　（7）　安心して子どもを持てるために必要な行政による経済的支援 33
　5．　子育てに関すること 34
　　（1）　子育てに対しての楽しさとつらさの感じ方 34
　　（2）　子育てにおける負担 35
　　（3）　子育て支援として重要な施策 36
IV　参考資料 37
　1．　調査票（回答画面） 39
　2．　市ホームページにおける本アンケート調査の案内 49

Ⅰ　調査の概要

１．調査目的

この調査は、市内在住者及び交流人口や関係人口など本市に関わりがある多くの方から、「現在に関すること」、「自身と市の将来に関すること」、「結婚に関すること」、「出産・子の誕生に関すること」及び「子育てに関すること」について、広く意見等を聴取し、結果を「長期ビジョン」の策定の参考にすることを目的とする。

２．調査設計

（1）調査対象：市内在住者及び交流人口や関係人口など本市に関わりがある方
（2）調査方法：市ホームページ等による周知／電子申請による回収
（3）調査期間：令和３年（2021 年） ３月１日～３月 31 日
（4）調査機関：八王子市　未来デザイン室

３．調査項目

（1）現在に関すること
（2）自身及び市の将来に関すること
（3）結婚に関すること
（4）出産・子の誕生に関すること
（5）子育てに関すること
※（3）～（5）は２０歳～４９歳の方のみ回答

４．回収結果

回答者数：1,037 人

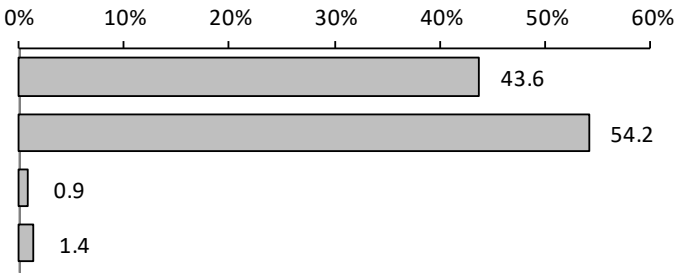
５．報告書の見方

（1）本調査は、広く意見等を聴取することを重視しているため、無作為抽出によるものではない。
したがって、調査結果は「市民全体の状況」を示すものではなく、あくまで本調査の回答者の回答状況にとどまる。
（2）集計は、小数第２位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が 100%にならない場合がある。
（3）回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100%を超えることがある。
（4）基数となるべき実数は、ｎ（件数）として表示した。その比率はｎ（件数）を 100%として算出した。
（5）本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。

II　回答者の属性

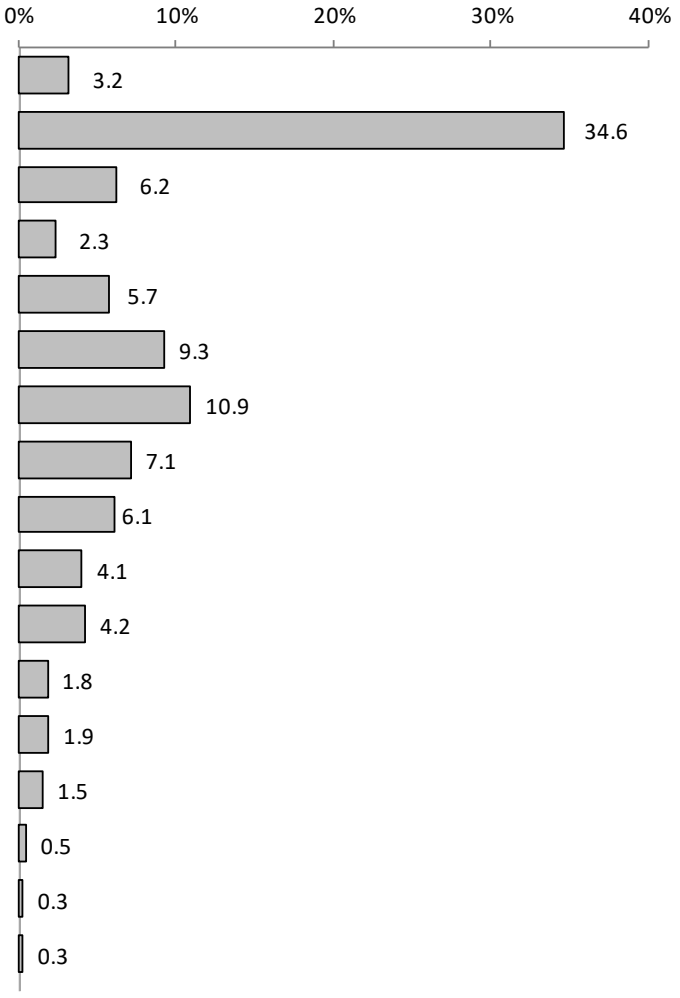
１．性別

区分	基数（人）	構成比（%）
男性	452	43.6
女性	562	54.2
あてはまらない	9	0.9
無回答	14	1.4
合計	1,037	100.0



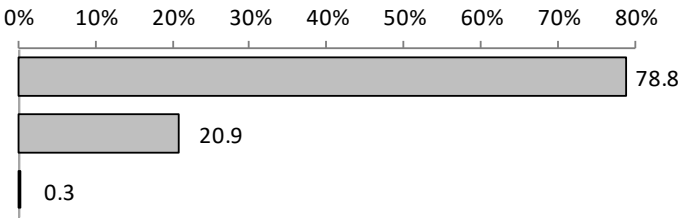
２．年齢

区分	基数（人）	構成比（%）
16歳未満	33	3.2
16～18歳	359	34.6
19～22歳	64	6.2
23･24歳	24	2.3
25～29歳	59	5.7
30～34歳	96	9.3
35～39歳	113	10.9
40～44歳	74	7.1
45～49歳	63	6.1
50～54歳	42	4.1
55～59歳	44	4.2
60～64歳	19	1.8
65～69歳	20	1.9
70～74歳	16	1.5
75～79歳	5	0.5
80歳以上	3	0.3
無回答	3	0.3
合計	1,037	100.0



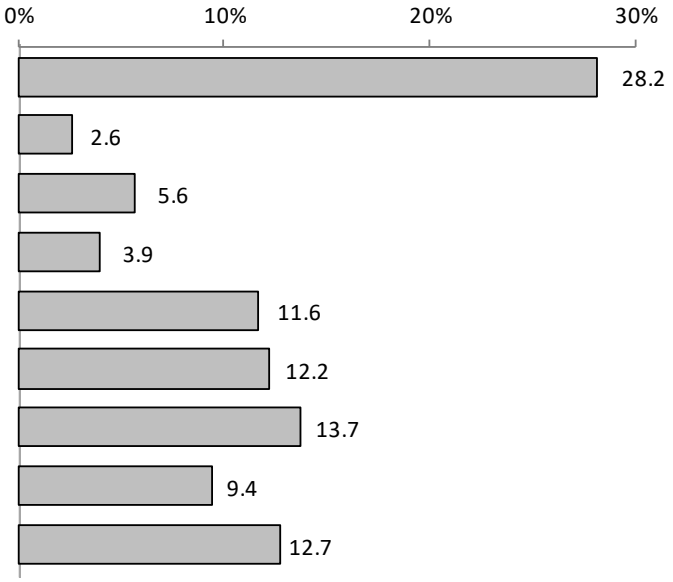
３．居住地

区分	基数（人）	構成比（%）
八王子市内	817	78.8
八王子市外	217	20.9
無回答	3	0.3
合計	1,037	100.0



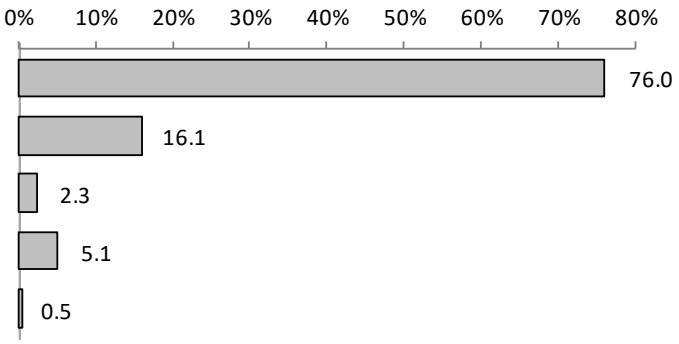
３－１．市内在住者の居住年数

区分	基数（人）	構成比（%）
生まれてからずっと居住している（年数に関わらず）	230	28.2
1年未満の居住	21	2.6
1～3年未満の居住	46	5.6
3～5年未満の居住	32	3.9
5～10年未満の居住	95	11.6
10～15年未満の居住	100	12.2
15～20年未満の居住	112	13.7
20～30年未満の居住	77	9.4
30年以上の居住	104	12.7
合計	817	100.0



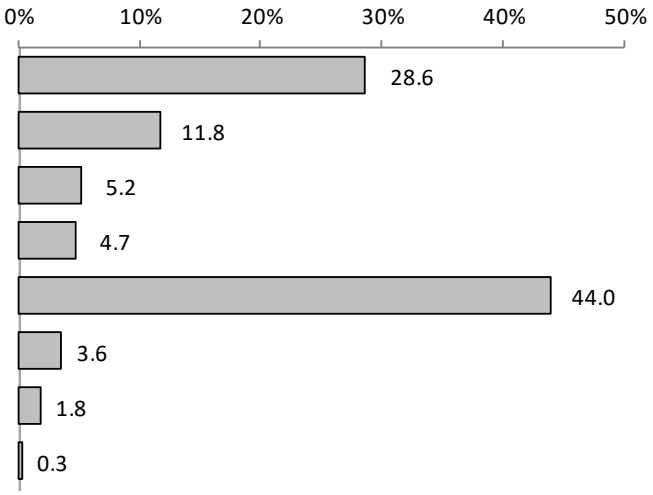
３－２．市外在住者の本市との主な関わり

区分	基数（人）	構成比（%）
通学している	165	76.0
通勤している	35	16.1
活動をしている	5	2.3
その他	11	5.1
無回答	1	0.5
合計	217	100.0



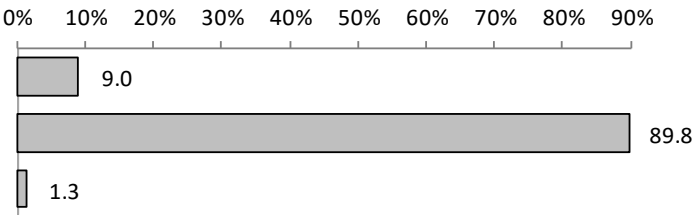
４．就業・就学の状況

区分	基数（人）	構成比（%）
正規雇用（常勤）	297	28.6
非正規雇用（パート、アルバイト、派遣社員、契約社員等）	122	11.8
自営業・自由業	54	5.2
専業主婦（主夫）	49	4.7
学生	456	44.0
働いていない（求職中、家事手伝い等含む）	37	3.6
その他	19	1.8
無回答	3	0.3
合計	1,037	100.0



５．世帯構成

区分	基数（人）	構成比（%）
一人暮らし	93	9.0
一人暮らし以外	931	89.8
無回答	13	1.3
合計	1,037	100.0



III 調査結果

１．現在に関すること

（１） 注目していること・関心があること

問１　現在、あなたが日常生活や社会生活の中で、注目していることや関心があることを教えてください。
（自由記述）

日常生活や社会生活の中で注目していることや関心があることについて聞いたところ、678 人から回答があった。その中から抜粋した意見を掲載する。なお、内容については、記述の趣旨を損なわないように留意しながら一部要約したものがある。

○八王子駅の再開発で京王八王子との接続など。（男性　16～18 歳）
○新型コロナウイルス蔓延による屋外での活動が制限されていること。また、緊急事態宣言の発令に伴って学校での部活動や修学旅行等のイベントの実施が制限されていること。（女性　16～18 歳）
○八王子市内の空き店舗、空きテナントの増加→街を歩いていると圧倒的に増えてきていると感じる。（男性　16～18 歳）
○学校教育のデジタル化（女性　16～18 歳）
○身体にハンデがある人への対応の仕方（男性　16～18 歳）
○コロナの影響に対する八王子市の経済的支援など（特に学生支援や中小企業支援）。（女性　19～22 歳）
○コロナのワクチンに関する問題（アレルギーなど）（男性　19～22 歳）
○リニア駅開通に伴う地元の活性化について。（男性　19～22 歳）
○防犯面で誰もが安心できるまちづくり（女性　19～22 歳）
○自然環境の保全や伝統文化の伝承、既存集落地の生活環境維持、多摩地域の方言振興（男性　19～22 歳）
○春から新社会人となり、実家からの勤務となる(予定)だが、住環境や両親が今後暮らしやすい街であるかどうかに関心がある。（女性　23・24 歳）
○コロナウイルスの影響を含む、社会の変化について。（男性　23・24 歳）
○地域コミュニティ、まちづくり（女性　23・24 歳）
○自分自身でできる新型コロナの早期収束に向けた取り組み。分別によるゴミの削減。八王子に来て１ヶ月なので八王子を堪能しきりたい。高尾山道を攻略したい。（男性　25～29 歳）
○若年層の貧困（男性　25～29 歳）
○市による子育て支援について。（女性　25～29 歳）
○子供の育成について。住んでいるエリアはニュータウンになるが、子供を育てる環境は良いと思う。八王子に限らず、子供に対する補償がもっとあったらいいのにとは思う。（女性　30～34 歳）
○小さい頃に団地に住んでいたが、その頃はとても子供達が居て団地内の公園がすごく盛り上がっていた。今は高齢の方が多くなっており子供たちが少なく公園が寂しい感じになっている。（男性　30～34 歳）
○地域自治組織の運営や関わり方。自治会の運営の中身が見えず、防災の観点からも必要かと思うが、ルールや運営方法が不透明（男性　30～34 歳）
○子育て、将来の学費、老後の不安などがあり、最近では不労所得の必要性など関心がある。（男性　35～39 歳）
○世代間人口ギャップに伴う、産業や都市構造の変化。社会や経済の持続可能性（男性　35～39 歳）
○子育て関連（女性　35～39 歳）
○高齢者が増加する中で、高齢になっても自立できるよう、若いうちから身体の機能が衰えないような取組みが出来るような社会になるといいと思う。（女性　40～44 歳）
○コロナ禍での学校教育について。タブレット PC を活用した教育がどのようになるか。（女性　40～44 歳）

○生活習慣病にならないように運動すること。（男性　40～44 歳）
○子供が 2 歳のため、子育てや教育について関心がある。（女性　40～44 歳）
○様々なシーンでデジタルトランスフォーメーション（DX）が進み、居住地域を選択する自由度が広がることで、首都圏への一極集中や 23 区への集中がどのように変わっていくのか、それに合わせて公共交通機関はどのような変化を求められるのかに関心を持っている。（男性　45～49 歳）
○自然豊かで高尾も甲州街道も有り歴史ある街なのに、高尾山にしか人が行かず大変残念。歴史ある、観光したくなる大規模なテーマパーク的な街作り、イベント、お祭り、特産品作りをして欲しい。（女性　45～49 歳）
○子供達が大きく羽ばたける社会、次世代の人たちが住みやすい社会、人口が減るのだからその代わりになる外国人を受け入れやすい社会（男性　45～49 歳）
○街灯の少なさ。夜は駅から離れると暗くて子供が心配（女性　50～54 歳）
○リモートワークの定着と再生可能エネルギーの活用（男性　50～54 歳）
○地域を生かした子どもが参加できるイベント。高齢者まではいかない、40 代、50 代の体操、趣味講座（女性　50～54 歳）
○生涯未婚率の上昇や少子化により独居老人が増加している中、常時介護までいかなくても、体調不良などで手助けが必要となった時などに利用できる公共のサービスがあればいい。（女性　50～54 歳）
○八王子の再開発など。例えばコンベンションセンター、旧刑務所跡地について。（男性　55～59 歳）
○SDGs に関する Web 会議に参加をしてとても学ぶ事が大きかったので、これから始めてみたい。（女性　55～59 歳）
○高齢者の介護施設など、いわゆる老人ホームの健全な経営と需要に見合った供給（男性　55～59 歳）
○「孤独死」独り暮らしの「誰も看取られないでの死」いわゆる「孤独死」にならないために地域でコミュニケーションをとっていかなければならない思う。（女性　60～64 歳）
○ひとり親の人の生活　子どもの貧困と学力格差（男性　60～64 歳）
○特別養護老人ホームの新設サポートの充実。高齢者 1 人でも暮らせる豊かな社会（女性　60～64 歳）
○老後の生活。郊外に住んでいるので、免許返納したら買い物にも出られなくなる不安など。（女性　65～69 歳）
○老後の居場所。税金や介護、年金などのしくみ。老人にもわかるデジタル化。健康維持の施設（女性　65～69 歳）
○市の長期計画もスマートシティ（コンパクトシティ）を意識していると思われるが、里山の荒廃化や学校の統廃合による子育てサービスの低下など、悪循環に陥る面があることとのバランスをどのように考えるかに関心がある。また公助・共助・自助が云々言われるが、先ずは家族が協力し合える支援を構築することで地域医療・福祉への予算圧迫を低減できると思う。（男性　70～74 歳）
○高齢者社会におけるコミュニティの場（男性　70～74 歳）
○山と緑と川の自然環境とくらしの保全、住みやすい生活環境（男性　75～79 歳）
○人口減少に転じるので、経済活動の低下（男性　80 歳以上）

（２） 挑戦したいこと・行動に移したいこと

問２　現在、あなたが日常生活や社会生活の中で、挑戦したい、行動に移したいと思っていることを教えてください。（自由記述）

日常生活や社会生活の中で挑戦したい、行動に移したいと思っていることについて聞いたところ、604 人から回答があった。その中から抜粋した意見を掲載する。なお、内容については、記述の趣旨を損なわないように留意しながら一部要約したものがある。

○マイ○○を持ち歩き、買い物をなるべく少なくすること。（女性　16 歳未満）
○地域のゴミ拾いやボランティアの参加（女性　16～18 歳）
○身体にハンデがある人への対応を提言したい。（男性　16～18 歳）
○困っている人を見かけたら必ず助ける。（女性　16～18 歳）
○ごみ拾いのボランティアをやってみたい。（男性　16～18 歳）
○環境問題について、もっと多くの人に関心をもってもらうために、自ら温暖化対策等の行動をしたい。また、八王子市が現在環境問題に対してどのような活動を行っているか、より詳しく知りたい。（女性　16～18 歳）
○多摩川などのフィールドワークの実験に参加すること。（女性　16～18 歳）
○緑地の維持管理ボランティア、お囃子や獅子舞などの伝承への参加（男性　19～22 歳）
○学園都市として、学生が生活しやすい環境づくり（経済的支援やコミュニティの形成など）（女性　19～22 歳）
○野球などのスポーツの楽しさを教えたい。（男性　19～22 歳）
○地域や電車内での見守り。異変を感じたら勇気を出して動く。（女性　19～22 歳）
○社会人中に更に学びを深めること(資格取得・大学院進学)や、多様な方と交流する場をつくることを継続したい。（女性　23・24 歳）
○オンライン化の機会を活かして将来の進路の可能性を広げること。（男性　23・24 歳）
○自分が望むような自分でいられるようにアクティビティなどに挑戦したい。（女性　23・24 歳）
○八王子市をもっと子育てのしやすい街にしたい。（女性　25～29 歳）
○ニュータウンにある農村地帯に住む方たちと積極的に交流をしていきたい。（男性　25～29 歳）
○具体例は思いついていないが、縁の下の力持ちとして人に貢献できるようなことをしたい。（女性　25～29 歳）
○お祭りなどの地域の活動に参加してみたい。（女性　25～29 歳）
○現在、バス会社で仕事をしているが、観光バスの仕事が減少しており生まれた故郷、八王子で何か出来ればと思っている。マイクロバス、大型バスが主なのでコミュニティバスでも走らせられたらと思っている。例えば団地からイーアス高尾までのシャトルバス。ご高齢の方が不自由なくお買い物が出来ればと。（男性　30～34 歳）
○地域コミュニティのなかでボランティアなどの活動をしたい。（男性　30～34 歳）
○自分自身には結婚、育児の予定がないので間接的にでも子育て世代を支援して子供が過ごしやすい社会にしたいと思っている。（女性　30～34 歳）
○食(農)、子供とテーマとしたコミュニティ作り。（男性　30～34 歳）
○小学生や中学生などに、外国人とのコミュニケーションをとる機会を作り、多文化共生、異文化理解について、理解度を高めていくこと。（女性　35～39 歳）
○仕事などを通して地域に貢献していきたい。（男性　35～39 歳）

○地域の子どもたちが夢中になれることを増やしたい。スポーツ、芸術、勉強、なんでも良いので何かを頑張る、その先にある達成感を感じながら成長していってほしいと思う。それが八王子だからできる(できた)ことであればなお嬉しく思う。(女性　35～39 歳)
○昨今閉塞的になりつつある地域住民との触れ合い（男性　35～39 歳)
○こども食堂のスタッフとして参加してみたい。(女性　35～39 歳)
○八王子市を良くする為に、市民間で意見交換を行い出来ることから実行に移して活性化に繋げたい。(女性　35～39 歳)
○次世代のためにも豊かな自然環境を残すために 3R を推進してごみ減量及び地球温暖化防止に繋げていきたい。(男性　40～44 歳)
○家庭に恵まれない子のために、何か手助けをしたい。(女性　40～44 歳)
○八王子市の情勢や土地柄といったここだけの特色を知りたい。(男性　40～44 歳)
○子ども会の活動を通じて地域のつながりを長期的にもてるようにしていきたい。(女性　40～44 歳)
○地域で子供を支える、困窮する家庭へのこども食堂等の支援。(男性　45～49 歳)
○子育てが楽しくできるよう(辛くならないよう)に、様々なニーズに応えられる子育て支援に挑戦したい。(女性　45～49 歳)
○PTA 活動や地域活動など、地域のつながりづくり（男性　45～49 歳)
○地域で見守りとか、ボランティアをしたい。(女性　50～54 歳)
○近くの湯殿川河川周辺のクリーンナップ作業（ゴミ拾い等)。(男性　50～54 歳)
○子どもの環境支援、子育て支援（女性　50～54 歳)
○人と人との関わりをもっと増やせる事は何なのか。様々な人との繋がりを手助け出来ることがしたい。(男性　55～59 歳)
○地域のコミュニティを大切にしていきたい。(男性　55～59 歳)
○生涯現役で働きたい。これからは、社会貢献も考えながら働きたい。(男性　55～59 歳)
○ボランティアを積極的にしていきたい。暮らしの保健室 のようなものに関わっていきたい。(女性　50～54 歳)
○外国人を中心として、日本語話者でない生活者とその子の支援や自律（男性　60～64 歳)
○一人でも最期まで他人に迷惑をかけずに生きていけるように健康を維持したい。(女性　60～64 歳)
○市主催の趣味や勉強会等に参加したい。(女性　65～69 歳)
○趣味やスポーツ講習会等のサークルで活動したい。(女性　65～69 歳)
○元気なので、まだまだ働きたい。(男性　70～74 歳)
○コミュニティ活動を積極的にしていきたい。(男性　70～74 歳)
○ＳＤＧｓへの寄与（男性　75～79 歳)
○介護老人にならないように健康を維持したい。(男性　80 歳以上)

（3） 挑戦したいこと・行動に移したいことへの支障

問２－２　あなたが挑戦したい、行動に移したいと思っていることを実行しようとした場合に、支障となることがあれば教えてください。（自由記述）

挑戦したい、行動に移したいと思っていることへの支障について聞いたところ、538 人から回答があった。その中から抜粋した意見を掲載する。なお、内容については、記述の趣旨を損なわないように留意しながら一部要約したものがある。

○テストとの両立（女性　16 歳未満）
○年齢により、親の許可なしでいけないこと。（女性　16～18 歳）
○親の反対（男性　16～18 歳）
○どのように実行できるか方法が分からないこと。（女性　16～18 歳）
○授業の予習や復習、課題などやらなければいけないことに気を取られてしまい、まとまった時間がなかなか取れない。（女性　16～18 歳）
○情報機器を使って学習ができる環境が少ない。例として図書館は機器の禁止があり、学習できない場合もある。（男性　19～22 歳）
○学生生活との両立（女性　19～22 歳）
○金銭的余裕がない。（男性　19～22 歳）
○コミュニティがない。社会の理解が進んでいない。（女性　23・24 歳）
○会社との関係（男性　23・24 歳）
○新しい形態であるが故の知識不足、経験の無さ。（女性　23・24 歳）
○経済的な負担（女性　25～29 歳）
○今の安定している地盤をなげうってまで、取り組むことに抵抗がある。（男性　25～29 歳）
○活動について知る機会が少ない。（女性　25～29 歳）
○地元住民の方たちとどう交流すればいいのかわからないです。（女性　25～29 歳）
○どのような活動があり、どこでやっているかよく分からない。（男性　30～34 歳）
○子供を預けるところがない。（女性　30～34 歳）
○集まる場作りが課題となっている。空き家の利用を考えたいが、方法が分からない。（男性　30～34 歳）
○金銭面の問題（女性　30～34 歳）
○会社への通勤時間によって自分の時間の確保ができない。（男性　30～34 歳）
○コロナ渦での地域交流の制限（男性　35～39 歳）
○「挑戦したいこと」を実行する為の場があるのか、そういう団体があるのか、市が行っているのか、どうすれば参加出来るのか等が分からない。（女性　35～39 歳）
○取っ掛かりの方法がいまいちつかめない。（男性　35～39 歳）
○開催場所が一番の悩み。有料でもよいので、商用利用可能な教室が開ける場所が欲しい。地域の方たちへの告知方法が分からない。（女性　35～39 歳）
○子供が生まれてから、趣味に費やす時間がないことと、養育費等で金銭的な余裕がない。（男性　35～39 歳）
○コロナ禍で、同じような境遇の人と話をする機会が減っている。（女性　35～39 歳）
○仕事をしている為、時間に余裕がない。（女性　40～44 歳）
○練習場所、施設が近くにない。（男性　40～44 歳）
○行政の仕組みや横の繋がりがないことで、行政×民間の取り組みが思う程進まない。（女性　40～44 歳）

○周囲から町内会は高齢化していたり、長く住んでいる人の声が大きかったりして新規参入すると居心地が悪いと聞くので、町内会への参加に、興味や関心はありつつも二の足を踏んでいる。（女性　40～44 歳）
○IT、AI 等デジタル的な分野、最先端な事には助成などサポートが多いが、文化や技術の「アナログ」的な物で支えられている分野は、サポートが薄い。「事業継承」の「継承」される事業そのものに業種が偏りや隔たりが多い。（男性　45～49 歳）
○気軽に安心して子供を預けられる場所がない。学童のように定期利用ではなく、単発で利用できるところがあると助かる。（女性　45～49 歳）
○家族の協力と理解。時間の調整が難しい。（女性　45～49 歳）
○都心までのアクセス（男性　45～49 歳）
○フルタイムで働いているため、時間が取れない。（女性　50～54 歳）
○新型コロナで行動が制約される。仕事の予定が立てづらく、休みを取るのが難しい。（女性　50～54 歳）
○Wi-Fi 環境下でのテレワークをしたいが自宅近くに無いので困る。駅まで行くには車に乗って行くのでコストが高くなる。（男性　50～54 歳）
○今は仕事しているので、できない。退職してからだと 65 歳以上になるので、その時もそんな意欲があるのかわからない。（女性　50～54 歳）
○やはり金銭面での心配がある。やりたいだけでは収入に繋がらないし収入がなければ生活出来なくなる。（男性　55～59 歳）
○集まれる施設がない。（女性　55～59 歳）
○コロナ感染予防による外出制限と自粛（男性　55～59 歳）
○実際にやるとなっての　自身の力不足（女性　60～64 歳）
○親の介護（女性　60～64 歳）
○社会貢献したいが活動先が見つからない。（男性　65～69 歳）
○情報が多過ぎて的が絞れない。（女性　65～69 歳）
○格安の公の施設があると良い。（女性　65～69 歳）
○コロナで外出を控えなくてはならないこと。（女性　70～74 歳）
○無料の教育プログラムがまだまだ少ない。（男性　70～74 歳）
○行動するための材料の情報入手（男性　75～79 歳）
○体力の低下が支障になると思う。（男性　80 歳以上）

（４） 疑問に感じていること・理不尽に思うこと

問３　現在、あなたが日常生活や社会生活の中で、疑問に感じていること、理不尽に思うことを教えてください。（自由記述）

日常生活や社会生活の中で、疑問に感じていること、理不尽に思うことについて聞いたところ、576 人から回答があった。その中から抜粋した意見を掲載する。なお、内容については、記述の趣旨を損なわないように留意しながら一部要約したものがある。

○リサイクル資源として回収しているものでも、１００％有効に再利用されているわけではないこと。（女性　16 歳未満）
○全体としてある程度環境問題への関心はあるが、対策等の行動に移せていないという現状を疑問に感じている。（女性　16～18 歳）
○多摩モノレール八王子延伸はどうなっているのか。（男性　16 歳未満）
○SNS の誹謗中傷について。（女性　16～18 歳）
○部活動再開の基準が私立、都立、市立などで違い統一されていないこと。（男性　16～18 歳）
○環境を守ることの必要性に気づきながらも、利便性を重視して結局何も変えられていないこと。（女性　16～18 歳）
○公園でボールが使えないとかで公園でやりたいことがやれないのに「ゲームしないで外で遊べ」って言うのはなんか違う気がする。小学生は行動範囲が狭かったりするから使える公園も少ないと思う。（男性　16～18 歳）
○なぜ学園都市と公言しているのに、学生支援がほとんど行われていないのか。（女性　19～22 歳）
○産休や育休をとった人たちが再び復帰しやすい環境とはいえないと感じる。（女性　19～22 歳）
○我々の世代では、十分な年金が見込めないこと。（男性　19～22 歳）
○高齢者ばかりの対策がとられていて、中学生、高校生、大学生への具体的な対策があまりないこと。（女性　19～22 歳）
○印鑑制度や書類の直接提出など、テレワーク推進の壁がまだまだ多い。（男性　23・24 歳）
○北野台や絹ヶ丘の美しい緑道・公園にある噴水や小川などの設備が活かされていない。（男性　23・24 歳）
○子どもに関わる仕事や医療従事者の賃金を上げるべき。（男性　23・24 歳）
○京王八王子駅と JR 八王子駅との間の道がもう少し短くなれば、利便性がもっと良くなると思った。（女性　25～29 歳）
○道路整備について。コンクリートが欠けて穴があいていたり、ひびが入っていたりするのに、なかなか整備されない。特に問題がなさそうな所ばかり新たに整備されていたりしている。（女性　25～29 歳）
○給与体系について。接客業や保育関連などの職種は一般的に給与が低い傾向にあることが社会生活の中で理不尽、疑問に感じている。（男性　25～29 歳）
○子育てに関する手当の中にインフルエンザなどのワクチン代か含まれていないこと。子沢山の家はなかなか全員打てない。（女性　30～34 歳）
○少子化と言うわりに多子世帯への支援が薄い。児童手当増額やその他支援が足りない。（女性　30～34 歳）
○車椅子でも行ける場所（観光や飲食店、商業施設などなど）がまだまだ少ない。（女性　30～34 歳）
○子ども連れには（十分とは言えないが）一定の補助・理解があるが、子どもを持ちたいと考えている者の不妊治療については補助や周囲の知識・理解が少なかったこと。（女性　30～34 歳）
○税金の若年層への分配が少ない。福祉サポートは、高齢分野、子育て分野だけでなく、妊活で悩んでいる狭間の世代についてもサポートしてほしい。（男性　35～39 歳）

○業界によっては、まだまだ週休二日とれない、男性の権利はあっても育児休暇取得が困難等（女性　35～39 歳）
○公平な情報の発信、共有。制度自体が存在しても周知されておらず知っている人だけしか恩恵を享受できないのは不満（男性　35～39 歳）
○妊婦健診や赤ちゃんの予防接種で、トータル何十回も住所や名前電話番号等、同じ様な用紙に同じ内容を書かされた事。マイナンバーカード等でどうにかならないものか。（女性　35～39 歳）
○ご近所付き合いの希薄さ。高齢社会になる一方で、若い家族・子供との繋がりすら希薄になる昨今。若い世代の地域での繋がりを強めたい。現存する町内会や育成会は年配者の意見が根強く、牽制されがちであることがあり、新規に人を集めることが難しい。（男性　40～44 歳）
○世帯年収が増えるほど手当てがなくなり、頑張って働いてもむなしくなる。（女性　40～44 歳）
○便利さを求めるばかりに自然破壊などが進み、次世代に豊かな自然環境を残すことが出来ない。（男性　40～44 歳）
○政治が日常から遠いこと。市の予算などに疑問があっても、どうアクションすれば変えていけるのかがわからない。（女性　40～44 歳）
○老人世帯、子育て世帯への手厚い公助制度に比べて、それ以外の市民、国民には何の補助もない。（男性　45～49 歳）
○保育ニーズが高まる一方で、保育人材の確保がすすまない事を残念に思う。（女性　45～49 歳）
○家や水道、その他補修工事などの修理業者は非常に良し悪しが大きく、八王子指定業者なのに技術の未熟、高額など問題があり、何を選んだら正解なのかが全くわからないこと。ちゃんとした業者を斡旋、問題発生時には対処してくれる課が欲しい。（女性　45～49 歳）
○デジタルやバーチャルな技術が進む中で、個人の創造力や行動力が薄れ、心からの健康を維持する力が低下しないか、という心配の気持ちは持っている。（男性　50～54 歳）
○単身高齢者への生活支援が十分ではなく、自宅で暮らせる能力があっても施設入所を余儀なくされていること。（男性　50～54 歳）
○未来を担う子どもたちに尊敬されるような大人が自分を含めて少ないので真剣な対策が必要。（男性　50～54 歳）
○生活支援や補助金など、調べて申請しなければ受けられないものが多い。市役所発信で積極的に情報提供をして、困っている人を助けてくれるといいと思う。（男性　50～54 歳）
○市役所がなぜ休日や夜に開庁していないのか。平日に休みがあればいいが、無い時は休みを取って手続きに行く事がある。（女性　55～59 歳）
○八王子中心部に映画館がほしい。中高年であっても文化に触れる場所はもっとあるべきだと思う。中央図書館も改装充実して欲しい。（男性　55～59 歳）
○身障者の参加等はバリアフリーの環境が整っていない為なにかと難しい点。（男性　55～59 歳）
○自転車に乗るには公道を走行しなければならない狭い道が多々あり走行するのが怖い。また、公道がガタガタまたは段差がある場所を早急に整備してほしい。（女性　60～64 歳）
○納税、社会保険、公共サービスなど、似たものがバラバラに存在していること。納付は一本化、そうすれば給付もシンプル。（男性　60～64 歳）
○起伏の多い地形での 地震等の 防災対策がなかなかして貰えない。崖の半分が 八王子市 半分が東京都の土地と云うことで 道路の亀裂も 申請するもなかなか 一括して 修正して貰えない。（女性　65～69 歳）
○オンライン図書館がない。（男性　70～74 歳）

２．自身と市の将来に関すること

（１） 将来（2040 年頃）の理想の暮らし

問４　あなたや家族などの将来（2040 年頃）を想像したとき、理想の暮らしはどのような状態・姿ですか。（自由記述）

将来（2040 年頃）の理想の暮らしについて、状態・姿を聞いたところ、678 人から回答があった。その中から抜粋した意見を掲載する。なお、内容については、記述の趣旨を損なわないように留意しながら一部要約したものがある。

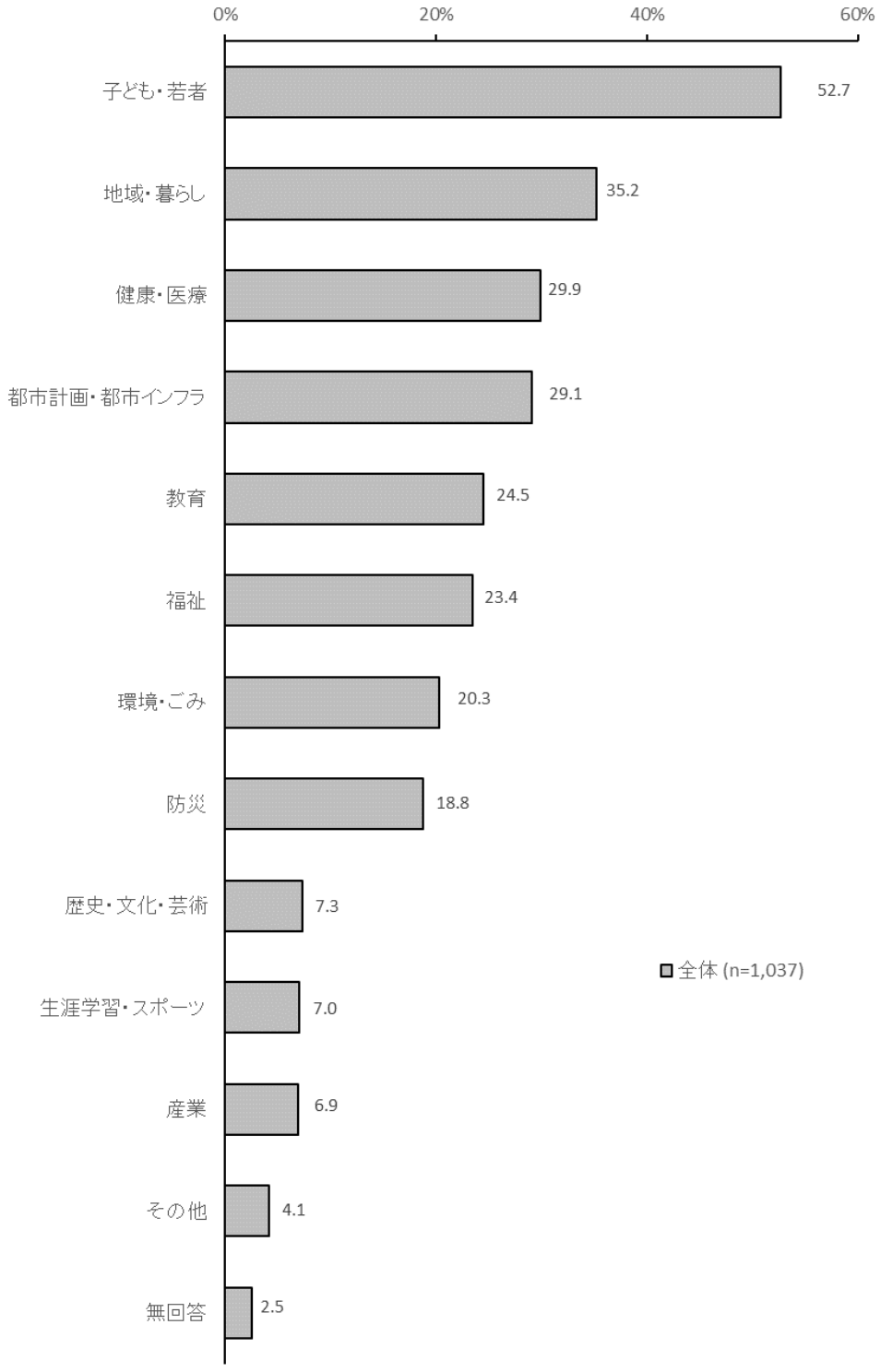
○年老いた両親が豊かに暮らせる姿（女性　16 歳未満）
○若い親と子供が八王子で買い物ができる。市のサービスを提案してくれる、市の人と繋がれる。（男性　16 歳未満）
○自然に触れることができ、子供が思う存分遊べる環境が整っているまちで暮らしたい。（女性　16～18 歳）
○必要な場所へのアクセスが良く、また自然の環境と都市の便利さのバランスが程よく保っている場所での悠々自適に過ごせるような暮らし（男性　16～18 歳）
○街が明るく栄えつつ、文化や自然が残っている八王子市で豊かに暮らすこと。（女性　16～18 歳）
○子ども達の活気であふれ、地域全体で協働している町で、若者からお年寄りまで不自由のない生活が出来る暮らし（男性　19～22 歳）
○安心して子育てができるように、経済的な支援が行われていて、かつ公立の保育園や学童に預けられるようになっていること。（女性　19～22 歳）
○両親が高齢になっているが、精力的に趣味などの老後の生活が送れる社会（男性　19～22 歳）
○子育て支援が充実していて、子どもの可能性を広げられること。（男性　23・24 歳）
○子供を育てるにあたって、それを支援してくれるような制度が今より充実していると良い。（女性　23・24 歳）
○八王子で一軒家を建て、八王子の大学へ子供を送り出す事（男性　23・24 歳）
○今の場所に住み続け、旧住民の方たちと交流を続け、コミュニティのあり方を共に考えている。（男性　25～29 歳）
○みんなが平等にいろいろなことを楽しめる。高度な医療技術が受けられるようになって、病気への不安がなくなるようになっている。（女性　25～29 歳）
○頑張っている人、頑張ろうとする人にチャンスを与えられる社会。仕事を頑張っているのに貧しい家庭がなくなる世界（男性　25～29 歳）
○より医療が進歩し、皆が笑顔で小さな事些細な事が幸せだと思える事（男性　30～34 歳）
○地震、天災などに対し一人一人の意識が高く対策も行えていて、不安のない世の中。金銭面、疾病、育児、介護等ストレスがない生活を送れること。（女性　30～34 歳）
○家庭内だけでなく、地域の方々との関わりあいの中で笑顔が生まれる暮らし（男性　30～34 歳）
○この地域に住むことに対して、誇りや喜びを感じながら、身の丈に合った生活をした状態。また、この地域に住みながらも、インターネットなどを通して、いろいろな地域ともシームレスにつながっている状態（男性　35～39 歳）
○定年再雇用してまで働きたいとは思わないので、それまでにしっかり働き、60 歳以降は週に 2 回程度、社会のつながりのために、社会貢献事業に参加しつつ、自由に暮らしたい。（女性　35～39 歳）
○子供が安心して遊べる公園や、施設が多くできて、ホームレスの方も少なくなって、訪問診療とか医療も充実、静かでゆったりした暮らしができている。（女性　35～39 歳）

○子供に社会的な負担が集中することなく中年から高齢者も必要なサービス等を利用して自立した生活を維持していける暮らし（女性　35～39 歳）
○息子たちも八王子に住んでいて、衣食住が整い、いつまでも八王子に新しい人が溢れるようになっている。（男性　40～44 歳）
○今ある資源や環境を利用しながら無理なく生活していること。地域のつながりがあり、支え合える環境であること。（女性　40～44 歳）
○若者が出る杭になれるよう、温かく色々な考えを見守れると良い。お役に立てる自分のスキルがあれば、それもまた活用したい。（女性　40～44 歳）
○都市で得られるメリット（人との交流、飲食店や娯楽施設、文化施設などの利用）と自然あふれる環境で得られるメリット（キャンプ、トレッキング、バードウォッチングや家庭菜園など）が両立できる暮らし。必要な医療がセーフティネットのひとつとして市民に提供され続けている暮らし（男性　45～49 歳）
○低所得単身者たちが何らかの形で支え合って、納得できる住宅で暮らしている。孤立しないよう、少しでも仕事または有償ボランティアをしている。八王子駅近辺や甲州街道沿いの商店街が、今以上廃れることなく、個人商店で会話をしながら買い物ができる。（女性　45～49 歳）
○八王子の事が好きな人、知っている人が多くなっていると嬉しい。外国に行った時、八王子知っているよ、行った事があるよとか言われる事が多くなったら、とても自慢げに話す自分の姿が理想かな？くだらないことかもしれないけど、それが自分の住んでいる街が成長していることだと思う。（男性　45～49 歳）
○その頃は 70 代となるので、日常生活に必要な、買い物や交通が無理なくできるような状況であってほしい。（女性　50～54 歳）
○足腰が不自由な高齢者向けのサービスや情報がインターネットやスマートフォンの有無を問わず受けられる。（男性　50～54 歳）
○高齢者や認知症の方や心身の障害のある方やその家族も、安心して日常生活を過ごせる。困ったことが起きても、すぐ助けてもらえる公共のサービスがある暮らし（女性　50～54 歳）
○家族ひとりひとりが無理なく、色々な行政と連携して安心して生活できるくらし（女性　55～59 歳）
○高齢者が一人でも安心して暮らせる社会。高額貯金なくても親身なサービスが受けられる社会（男性　55～59 歳）
○公共の手続き等は、ネットや固定ラインで繋がり固定の場所に行く事がなくなる。病気や健康診断がスマートフォン等でスキャンでき、病院に通院する事がない暮らし（女性　55～59 歳）
○家庭の事情ではなく全ての子どもが進学できる。また家庭の事情で中退した時など再挑戦できるような支援があること。（男性　60～64 歳）
○住民が自分、家族、社会のために貢献しようという意欲を持ち、貢献に応じて報奨が与えられる社会（男性　60～64 歳）
○元気で社会貢献、地域ボランティアとか趣味で楽しい生活をする。（女性　65～69 歳）
○一人暮らしでも安心が担保できる世界（男性　65～69 歳）
○公の施設を増やして、年齢を重ねても安心、安全な生活を送れるような日常（女性　70～74 歳）
○防災対策がしっかりしている八王子市で争い事のない八王子市であってほしい。（男性　70～74 歳）
○ブランド志向、価格が高ければでなく、ものの価値判断が出来る事。付加価値の高いオンリーワンの製品製造と販売。（男性　75～79 歳）
○平和な日本が維持され、国民全てが健康で幸せであること。（男性　80 歳以上）

（２） 将来（2040 年頃）に向けて市が力を入れるべき分野

問５　八王子市は将来（2040 年頃）に向けてどのような分野に特に力を入れた方がよいと思いますか。また、その具体的な内容は何ですか。（３つまで選択可、内容は自由記述）

図表２－２－１　将来（2040 年頃）に向けて市が力を入れるべき分野

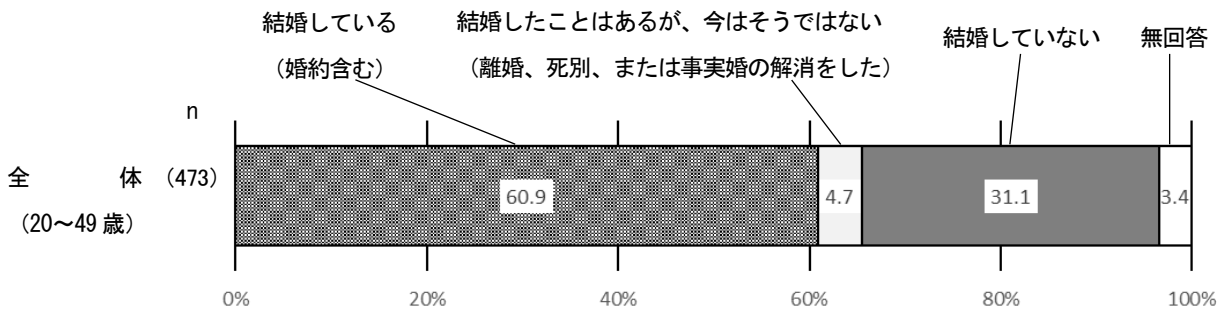


３．結婚に関すること

（１） 結婚の状況

問６　あなたは結婚していますか（事実婚を含みます）。（１つだけ選択）

図表３－１－１　結婚の状況

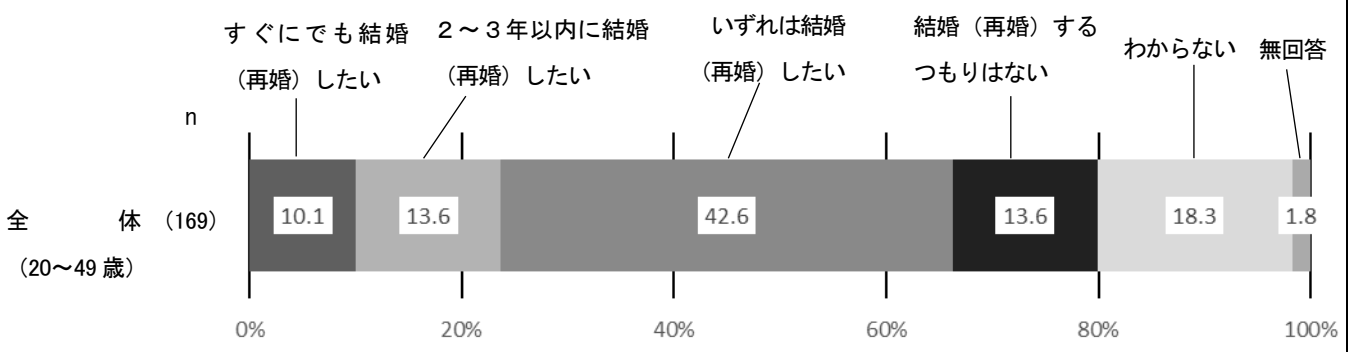


（２） 結婚（再婚）願望

（「２　結婚したことはあるが、今はそうではない」または「３　結婚していない」を選択した方にお聞きします。）

問６－１　あなたは、将来結婚（または再婚）したいと思いますか。（１つだけ選択）

図表３－２－１　結婚（再婚）願望

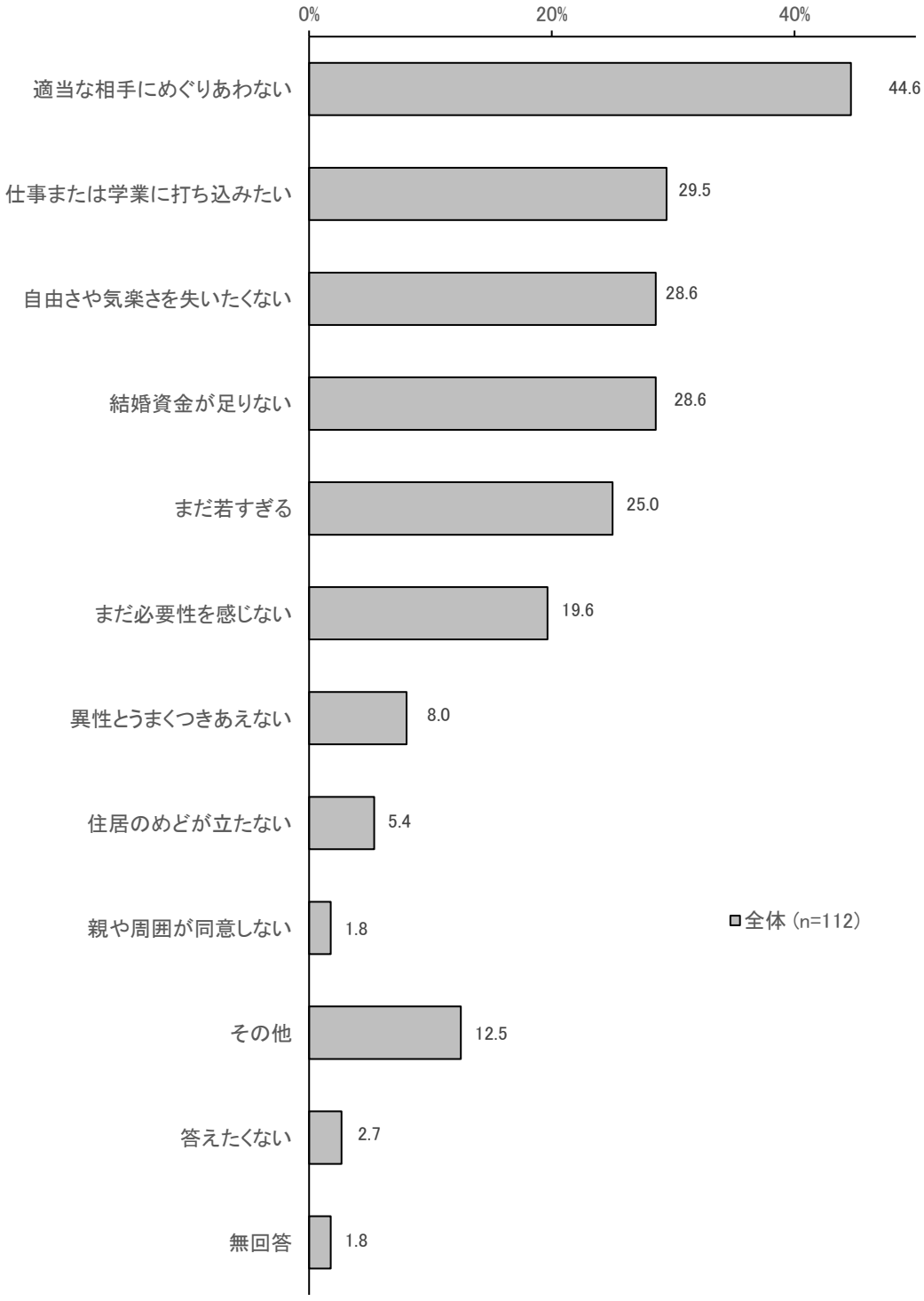


（３） 結婚していない理由

（「１　すぐにでも結婚（再婚）したい」、「２　２～３年以内に結婚（再婚）したい」、「３　いずれは結婚（再婚）したい」を選択した方にお聞きします。）

問６－２　あなたが今、結婚していない理由を教えてください。（３つまで選択可）

図表３－３－１　結婚していない理由

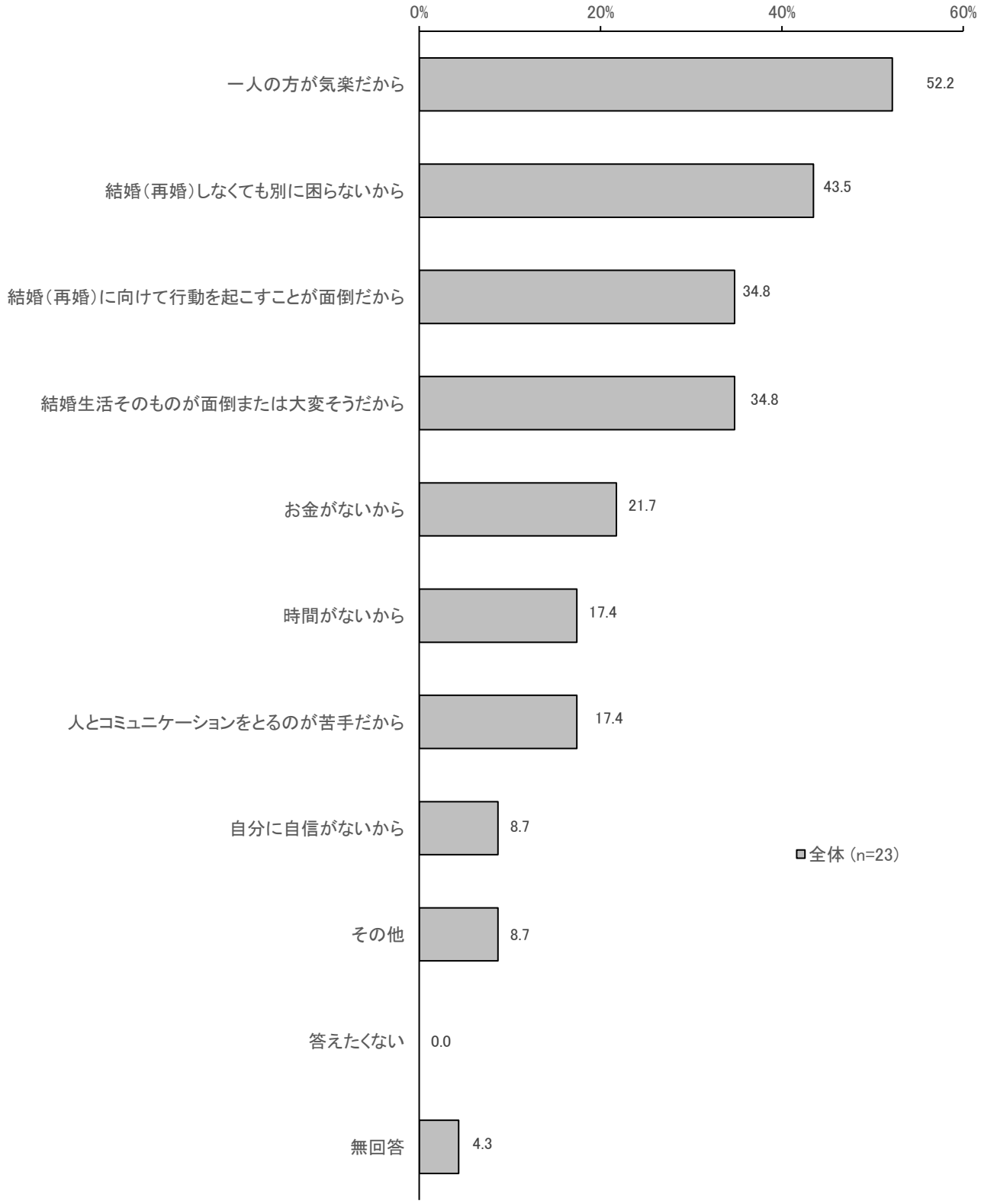


（４） 結婚を望まない理由

（「４　結婚（再婚）するつもりはない」を選択した方にお聞きします。）

問６－３　結婚（再婚）するつもりがないのはなぜですか。（３つまで選択可）

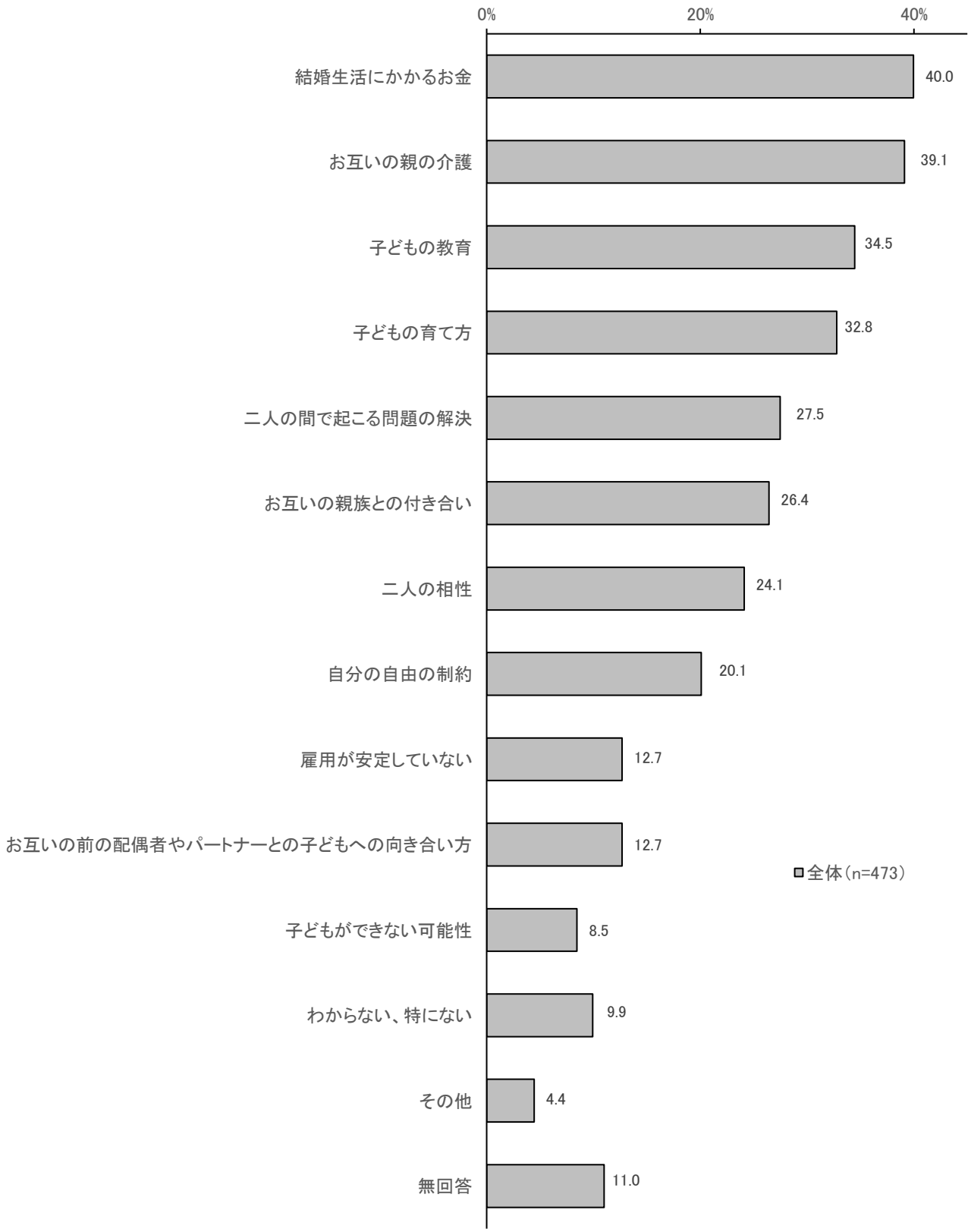
図表３－４－１　結婚を望まない理由



（５） 結婚生活についての不安

問７　あなたが結婚生活について不安に感じることは何ですか。（あてはまるものすべてを選択）

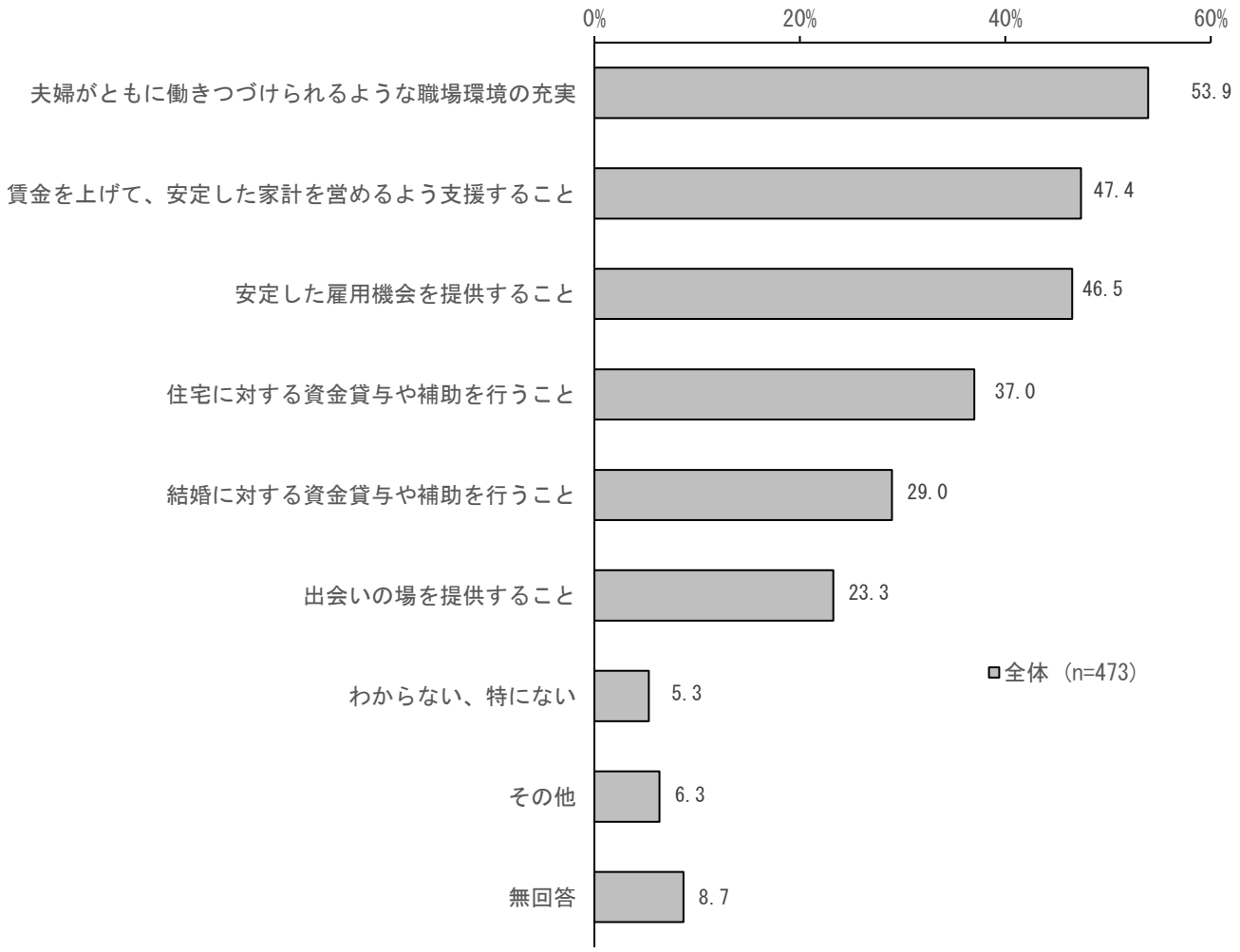
図表３－５－１　結婚生活についての不安



（６） 結婚支援において重要な施策

問８　あなたは、結婚を希望する人を支援する施策として何が重要だと思いますか。（あてはまるものすべてを選択）

図表３－６－１　結婚支援において重要な施策

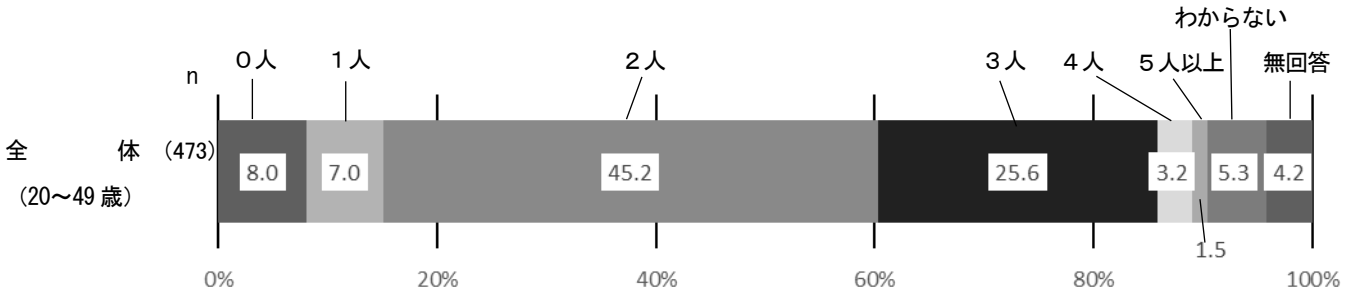


４．出産・子の誕生に関すること

（１） 希望する子どもの人数

問９　あなたは、全部で何人の子どもが欲しいですか。既にお子さんがいる場合は、そのお子さんも含めてお答えください。（１つだけ選択）

図表４－１－１　希望する子どもの人数

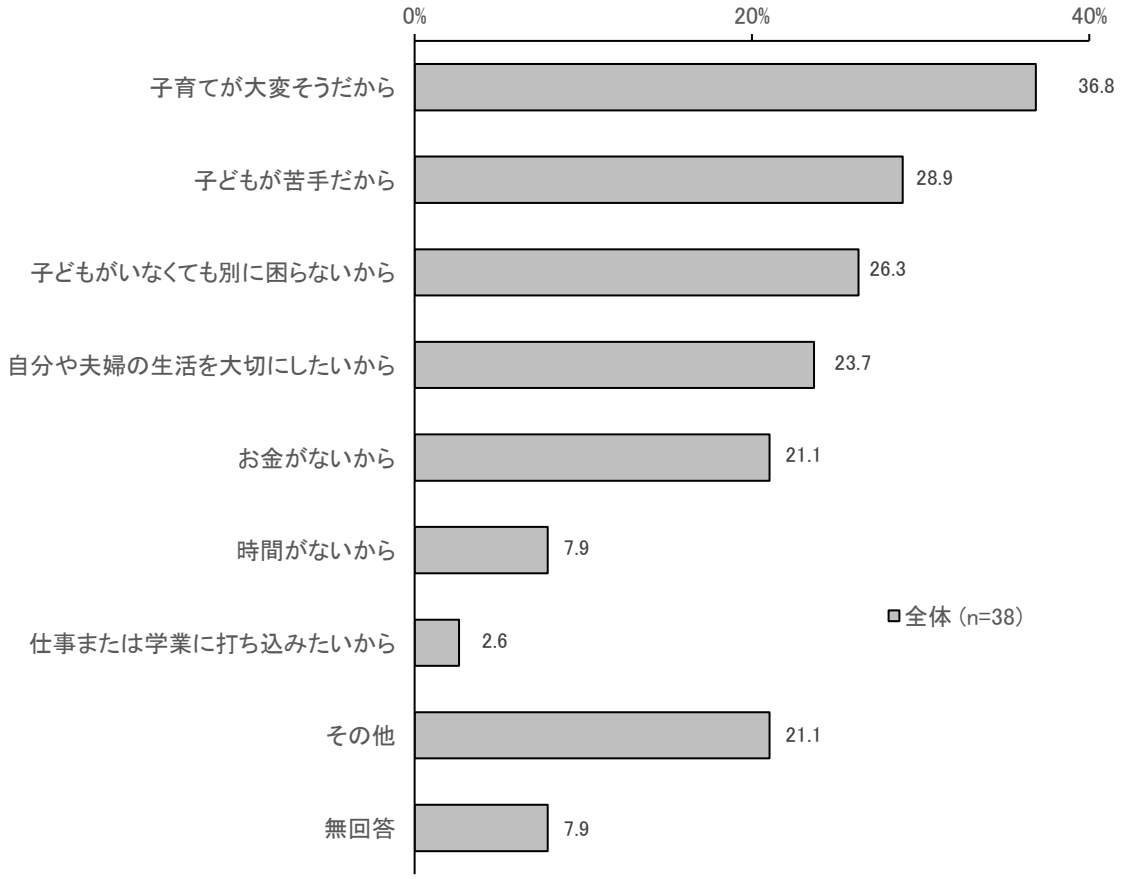


（２） 子どもを欲しくない理由

（「１　０人」を選択した方にお聞きします。）

問９－１　あなたが子どもを欲しくないのはなぜですか。（３つまで選択可）

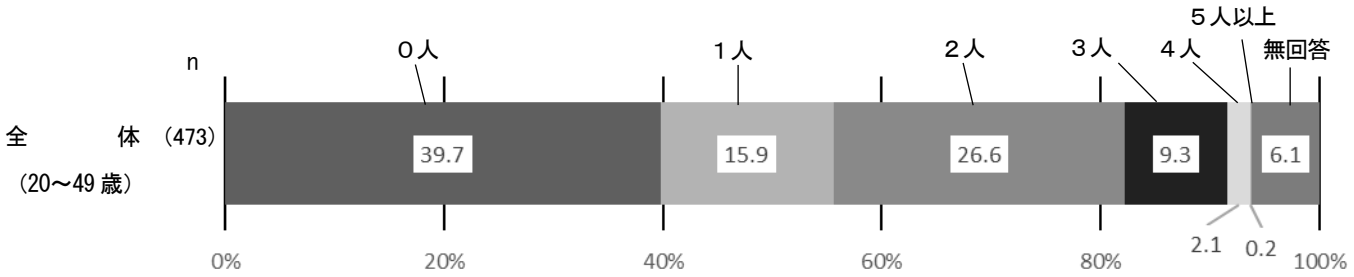
図表４－２－１　子どもを欲しくない理由



（３） 実際の子どもの人数

問 10　実際のあなたのお子さんの数は何人ですか。（１つだけ選択）

図表４－３－１　実際の子どもの人数

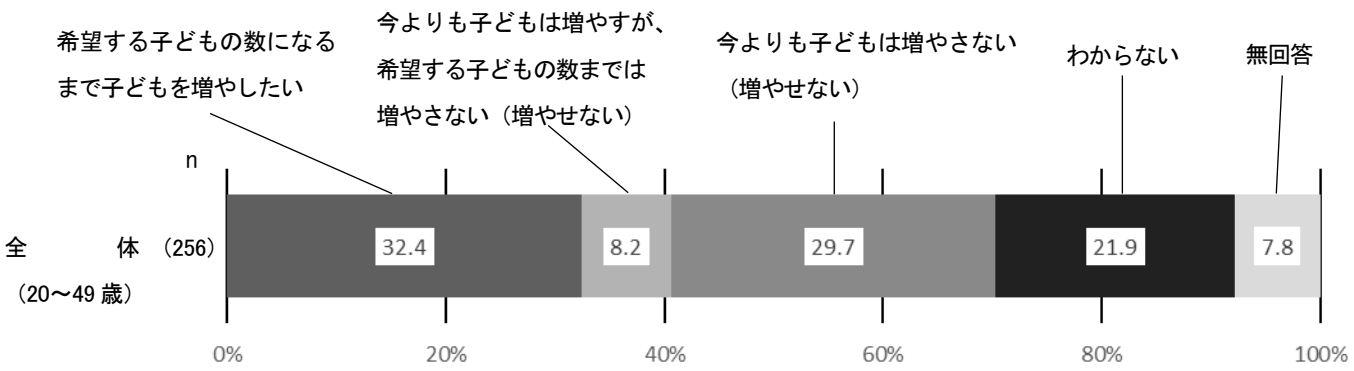


（４） 子どもを増やすことに対する考え方

（問９よりも問 10 で答えた子どもの数が少ない方にお聞きします。）

問 10－１　あなたは、今よりも子どもを増やしたいと思いますか。（１つだけ選択）

図表４－４－１　子どもを増やすことに対する考え方

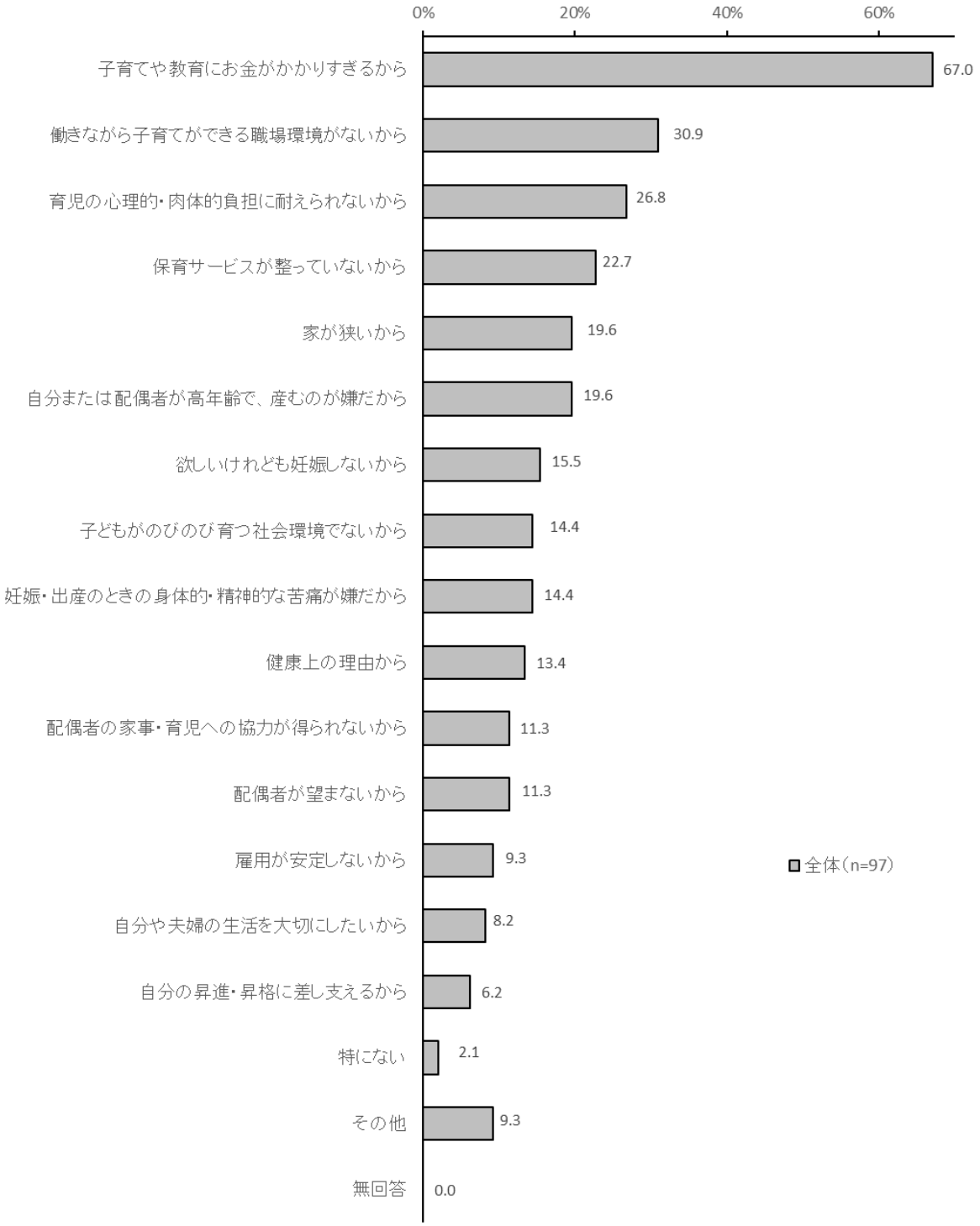


（５） 子どもを増やさない（増やせない）理由

（「２　今よりも子どもは増やすが、希望する子どもの数までは増やさない（増やせない）」、「３　今よりも子どもは増やさない（増やせない）」を選択した方にお聞きします。）

問 10－２　希望する数まで、または今よりも子どもを増やさない（増やせない）理由は何ですか。（あてはまるものすべてを選択）

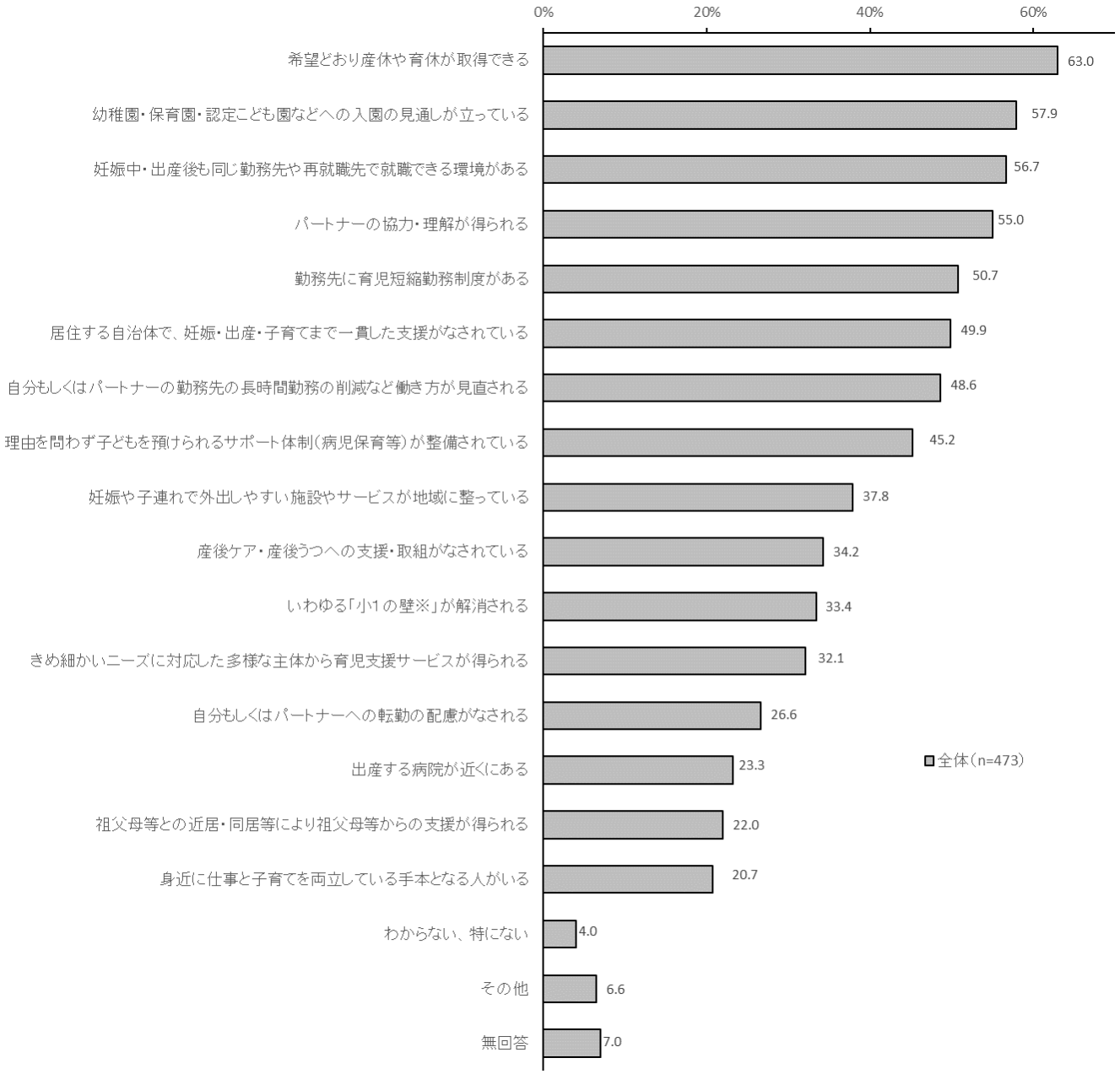
図表４－５－１　子どもを増やさない（増やせない）理由



（６） 希望どおり子どもを持てるために必要なこと

問11　あなたは、次のどのようなことがあれば、皆が安心して希望どおり子どもを持てるようになると思いますか。
（あてはまるものすべてを選択）

図表４－６－１　希望どおり子どもを持てるために必要なこと

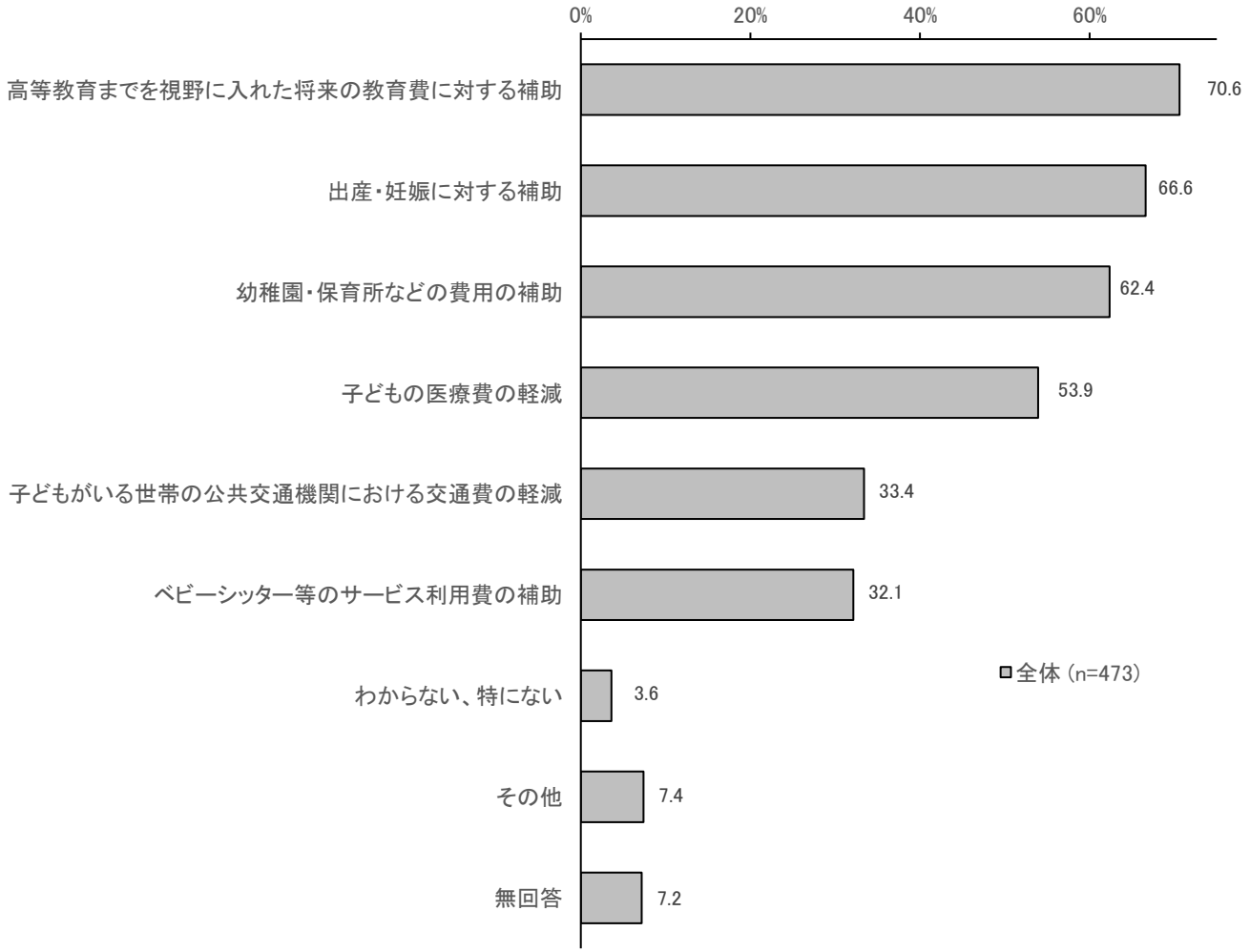


※小１の壁…子どもが小学校に上がる際、公的な学童保育の預かり時間が保育園よりも短くなることで直面する社会的な問題のことを指します。

（７） 安心して子どもを持てるために必要な行政による経済的支援

問 12　あなたは、次のどのような行政による経済的支援があれば、皆が安心して希望どおり子どもを持てるようになると思いますか。（あてはまるものすべてを選択）

図表４－７－１　安心して子どもを持てるために必要な行政による経済的支援

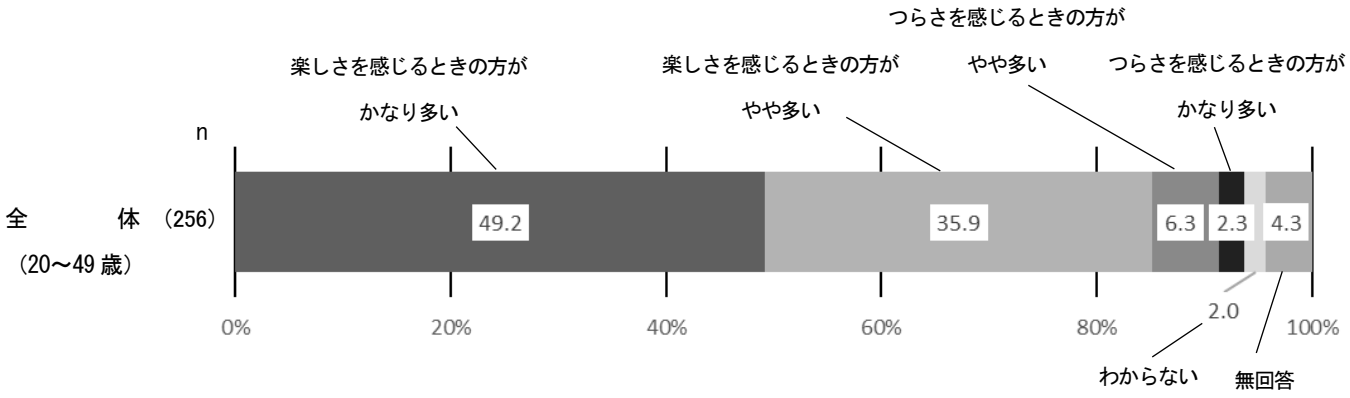


５．子育てに関すること

（１） 子育てに対しての楽しさとつらさの感じ方

問 13　あなたは、子育てに楽しさを感じるときが多いですか、それともつらさを感じることが多いですか。
（１つだけ選択）

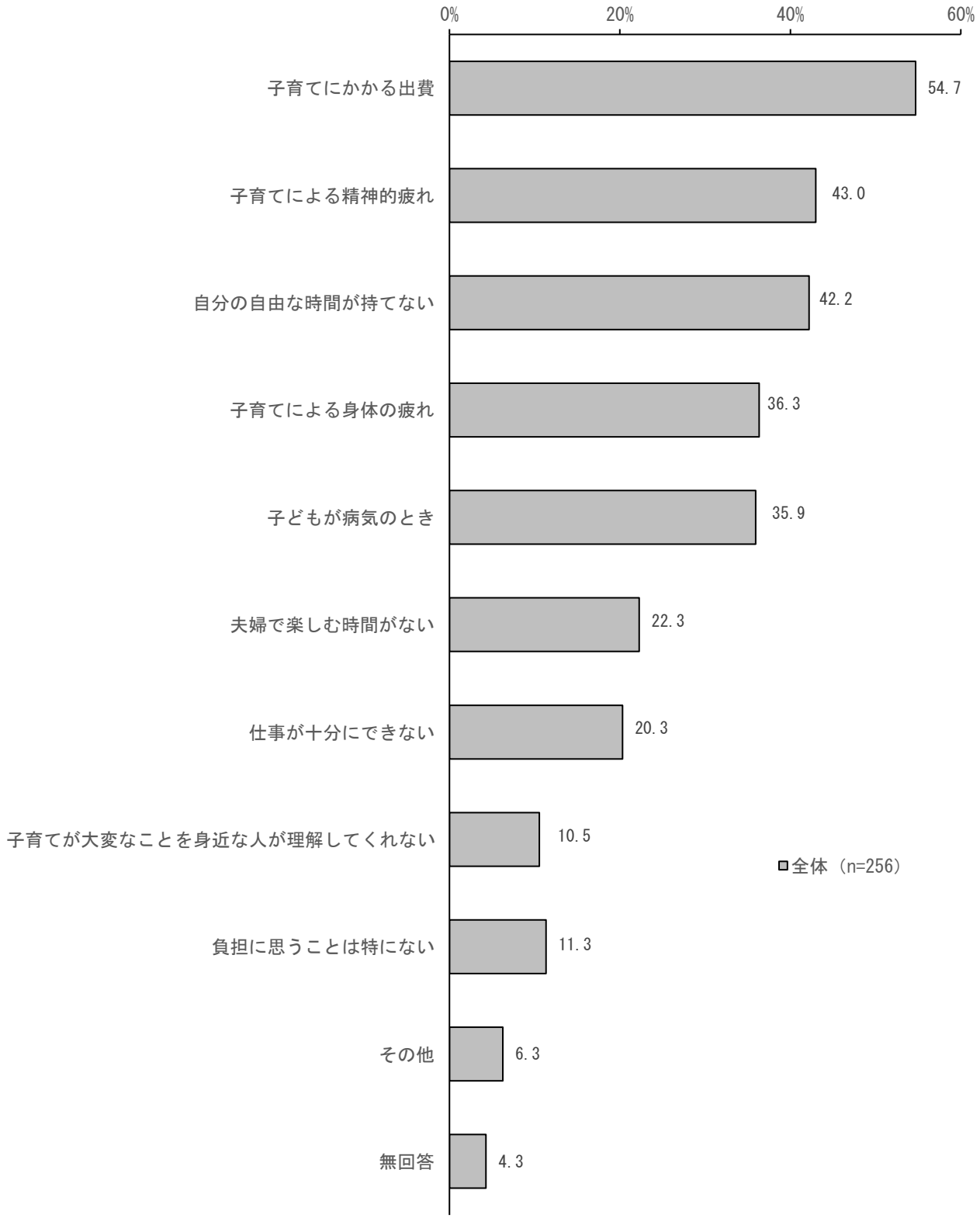
図表５－１－１　子育てに対しての楽しさとつらさの感じ方



（２） 子育てにおける負担

問 14　あなたが、子育てをしていて、自分にとって負担に思うことはどんなことですか。（あてはまるものすべてを選択）

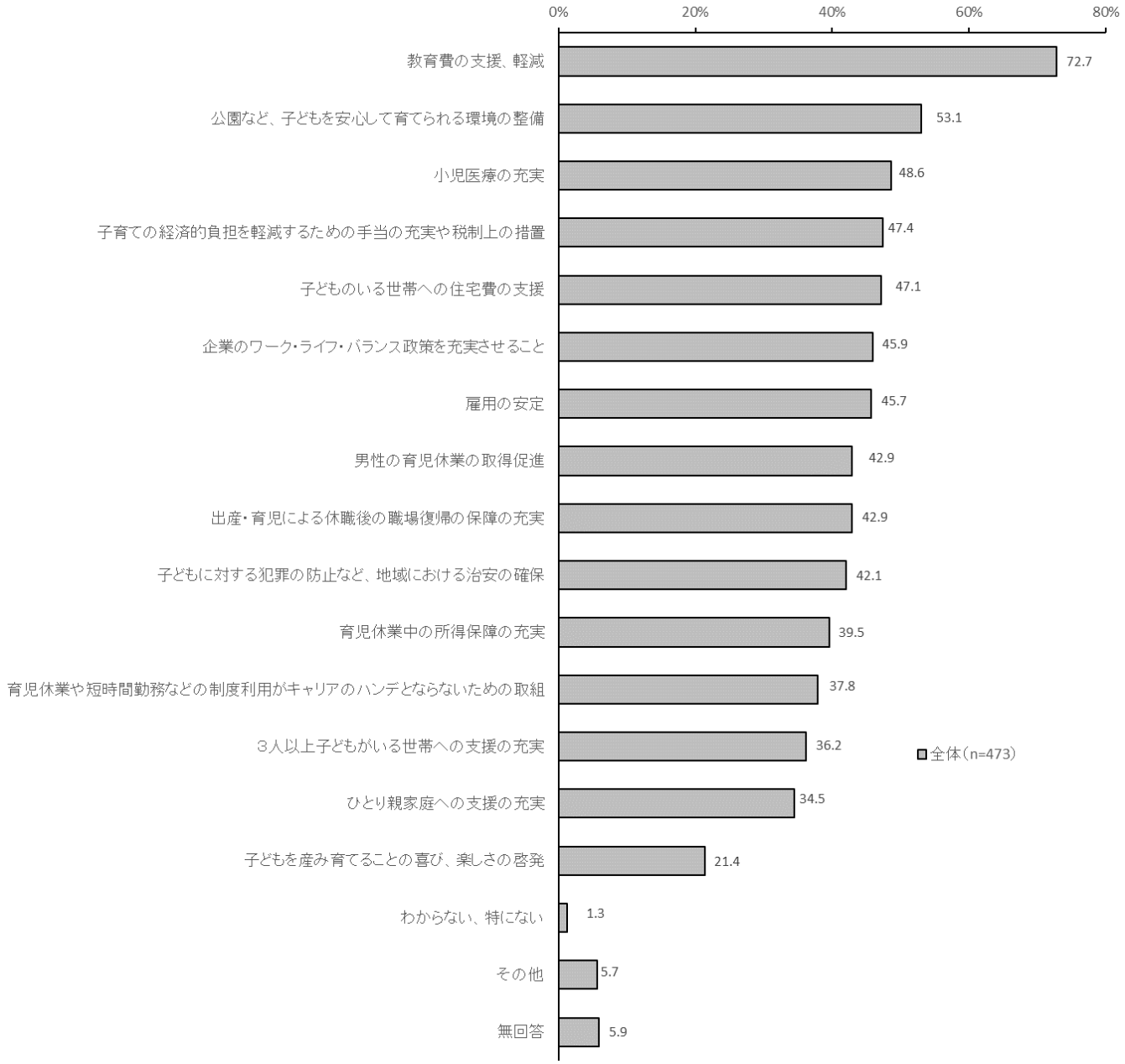
図表５－２－１　子育てにおける負担



（3） 子育て支援として重要な施策

問 15　あなたは、子育てを支援する施策として何が重要だと思いますか。（あてはまるものすべてを選択）

図表５－３－１　子育て支援として重要な施策



IV 参考資料

1．　調査票（回答画面）

東京共同電子申請・届出サービス　　サービストップへ

文字 大 中 小　色 標準 黒 青 黄

回答内容入力 > 回答内容確認 > 回答完了

長期ビジョン策定に向けたWEBアンケート調査

ヘルプ

回答内容の入力

操作方法のご説明

下記の入力フォームに必要事項を入力した後、「回答内容確認」ボタンを押してください。

必須 マークがある項目は、必ず入力してください。

また、機種依存文字は使用しないでください。機種依存文字が入力されている場合はエラーになります。

途中まで入力した内容を一時保存したい場合、「回答一時保存確認」ボタンを押してください。

ただし、選択した添付ファイルに関しては一時保存されません。

～ 回答要領 ～

◆ 回答方法は、（1つだけ選択、3つまで選択可、あてはまるものすべてを選択、自由記述）などのように指定していますので、それに合わせてください。

◆ ご自分の答えが選択肢にない場合などは、「その他」を選び、「『その他』を選択された場合にご記入ください。」の欄がある場合は、内容を具体的にご入力ください。

◆ 質問は、１問目から順に最後までお答えください。なお、問○-１のように、一部の方だけにお答えいただく質問もあります。その場合は説明文に従ってお答えください。

～回答時の注意点～

◆ 一時保存をしないまま60分を経過した場合、入力内容は保存されません。

◆ 60分を超える場合や入力を一時中断するために「回答一時保存」ボタンを選択した場合は、「次画面」に表示される「一時保存番号」と「再開用URL」を必ず控えておいてください。

<あなたご自身について>　～基本項目（フェイス・シート）～

最初にあなたご自身のことについておたずねします。

Ｆ１　あなたの性別は、次のどれですか。（１つだけ選択）	○ 1 男性　○ 2 女性　○ 3 あてはまらない
Ｆ２　あなたは現在何歳ですか。（１つだけ選択）	○ 1 16歳未満　○ 2 16～18歳　○ 3 19～22歳　○ 4 23･24歳 ○ 5 25～29歳　○ 6 30～34歳　○ 7 35～39歳　○ 8 40～44歳 ○ 9 45～49歳　○ 10 50～54歳　○ 11 55～59歳　○ 12 60～64歳 ○ 13 65～69歳　○ 14 70～74歳　○ 15 75～79歳　○ 16 80歳以上
Ｆ３　あなたのお住まいは、次のどちらですか。（１つだけ選択）	○ 1 八王子市内（Ｆ３－１へ）　○ 2 八王子市外（Ｆ３－２へ）
Ｆ３－１　（Ｆ３で「１ 八王子市内」とお答えの方へ）　あなたの八王子市での通算の居住状況を教え	○ 1 生まれてからずっと居住している（年数に関わらず該当者は選択してください。） ○ 2 １年未満の居住 ○ 3 １～３年未満の居住 ○ 4 ３～５年未満の居住

てください。（１つだけ選択）

- ○ 5　5～10年未満の居住
- ○ 6　10～15年未満の居住
- ○ 7　15～20年未満の居住
- ○ 8　20～30年未満の居住
- ○ 9　30年以上の居住

Ｆ３－２　（Ｆ３で「２八王子市外」とお答えの方へ）　あなたと八王子市との主な関わりは次のうちどれですか。（１つだけ選択）

- ○ 1　通学している　○ 2　通勤している　○ 3　活動をしている
- ○ その他

「その他」を選択された場合にご記入ください。

Ｆ４　あなたの現在の就業・就学の状況はどれにあたりますか。（１つだけ選択）

- ○ 1　正規雇用（常勤）
- ○ 2　非正規雇用（パート、アルバイト、派遣社員、契約社員等）
- ○ 3　自営業・自由業
- ○ 4　専業主婦（主夫）
- ○ 5　学生
- ○ 6　働いていない（求職中、家事手伝い等含む）
- ○ 7　その他

Ｆ５　あなたは一人暮らしですか。（１つだけ選択）

- ○ 1　はい
- ○ 2　いいえ

＜現在に関する質問＞

問１　現在、あなたが日常生活や社会生活の中で、注目していることや関心があることを教えてください。（自由記述）

問２　現在、あなたが日常生活や社会生活の中で、挑戦したい、行動に移したいと思っていることを教えてください。（自由記述）

問２－２　あなたが挑戦したい、行動に移したいと思っていることを実行しようとした場合に、支障となることがあれば教えてください。（自由記述）

問３　現在、あなたが日常

生活や社会生活の中で、疑問に感じていること、理不尽に思うことを教えてください。（自由記述）	

<将来に関する質問>

問４　あなたや家族などの将来（2040年頃）を想像したとき、理想の暮らしはどのような状態・姿ですか。（自由記述）	

問５　八王子市は将来（2040年頃）に向けてどのような分野に特に力を入れた方がよいと思いますか。また、その具体的な内容は何ですか。（３つまで選択可、内容は自由記述）

選択１（分野選択）

- ○ 1　地域・暮らし
- ○ 2　福祉
- ○ 3　健康・医療
- ○ 4　子ども・若者
- ○ 5　教育
- ○ 6　都市計画・都市インフラ
- ○ 7　防災
- ○ 8　産業
- ○ 9　環境・ごみ
- ○ 10　歴史・文化・芸術
- ○ 11　生涯学習・スポーツ
- ○ その他

「その他」を選択された場合にご記入ください。

選択１（具体的な内容）	

選択２（分野選択）

- ○ 1　地域・暮らし
- ○ 2　福祉
- ○ 3　健康・医療
- ○ 4　子ども・若者
- ○ 5　教育
- ○ 6　都市計画・都市インフラ

	◯ 7 防災 ◯ 8 産業 ◯ 9 環境・ごみ ◯ 10 歴史・文化・芸術 ◯ 11 生涯学習・スポーツ ◯ その他 「その他」を選択された場合にご記入ください。
選択２（具体的な内容）	
選択３（分野選択）	◯ 1 地域・暮らし ◯ 2 福祉 ◯ 3 健康・医療 ◯ 4 子ども・若者 ◯ 5 教育 ◯ 6 都市計画・都市インフラ ◯ 7 防災 ◯ 8 産業 ◯ 9 環境・ごみ ◯ 10 歴史・文化・芸術 ◯ 11 生涯学習・スポーツ ◯ その他 「その他」を選択された場合にご記入ください。
選択３（具体的な内容）	

◆20～49歳以外の方は、質問はこれで終わりです。一番下にある「回答内容確認」ボタンを押し、次画面で確認後に「回答する」ボタンを選択してください。「回答完了」（到達番号・問合せ番号が表示される）の画面が表示されましたら、回答は終了です。ご協力いただきありがとうございました。

◆20～49歳の方は、引き続き回答してください。（国の20～49歳を対象とした少子化対策に関する調査結果と比較したいため、ご協力をお願いします。）

<結婚に関する質問>

問６　あなたは結婚していますか（事実婚を含みます）。（１つだけ選択）

- ○ 1　結婚している（婚約含む）
- ○ 2　結婚したことはあるが、今はそうではない（離婚、死別、または事実婚の解消をした）（問６－１へ）
- ○ 3　結婚していない（問６－１へ）

問６－１　（問６で「２　結婚したことはあるが、今はそうではない」または「３　結婚していない」とお答えの方へ）　あなたは、将来結婚（または再婚）したいと思いますか。（１つだけ選択）

- ○ 1　すぐにでも結婚（再婚）したい（問６－２へ）
- ○ 2　２～３年以内に結婚（再婚）したい（問６－２へ）
- ○ 3　いずれは結婚（再婚）したい（問６－２へ）
- ○ 4　結婚（再婚）するつもりはない（問６－３へ）
- ○ 5　わからない

問６－２　（問６－１で「１」～「３」とお答えの方へ）　あなたが今、結婚していない理由を教えてください。（３つまで選択可）

3個まで選択可能です。

- □ 1　まだ若すぎる
- □ 2　まだ必要性を感じない
- □ 3　仕事または学業に打ち込みたい
- □ 4　自由さや気楽さを失いたくない
- □ 5　適当な相手にめぐりあわない
- □ 6　異性とうまくつきあえない
- □ 7　結婚資金が足りない
- □ 8　住居のめどが立たない
- □ 9　親や周囲が同意しない
- □ 10　答えたくない
- □ その他

「その他」を選択された場合にご記入ください。

問６－３　（問６－１で「４　結婚（再婚）するつもりはない」とお答えの方へ）　結婚（再婚）するつもりがないのはなぜですか。（３つまで選択可）

3個まで選択可能です。

- □ 1　結婚（再婚）に向けて行動を起こすことが面倒だから
- □ 2　結婚生活そのものが面倒または大変そうだから
- □ 3　結婚（再婚）しなくても別に困らないから
- □ 4　一人の方が気楽だから
- □ 5　自分に自信がないから
- □ 6　人とコミュニケーションをとるのが苦手だから
- □ 7　お金がないから
- □ 8　時間がないから
- □ 9　答えたくない
- □ その他

「その他」を選択された場合にご記入ください。

問７　あなたが結婚生活について不安に感じることは何ですか。（あてはまるものすべてを選択）	☐ 1　二人の相性 ☐ 2　二人の間で起こる問題の解決 ☐ 3　お互いの親族との付き合い ☐ 4　お互いの親の介護 ☐ 5　お互いの前の配偶者やパートナーとの子どもへの向き合い方 ☐ 6　結婚生活にかかるお金 ☐ 7　雇用が安定していない ☐ 8　自分の自由の制約 ☐ 9　子どもの育て方 ☐ 10　子どもの教育 ☐ 11　子どもができない可能性 ☐ 12　わからない、特にない ☐ その他 「その他」を選択された場合にご記入ください。

問８　あなたは、結婚を希望する人を支援する施策として何が重要だと思いますか。（あてはまるものすべてを選択）	☐ 1　安定した雇用機会を提供すること ☐ 2　賃金を上げて、安定した家計を営めるよう支援すること ☐ 3　結婚に対する資金貸与や補助を行うこと ☐ 4　住宅に対する資金貸与や補助を行うこと ☐ 5　出会いの場を提供すること ☐ 6　夫婦がともに働きつづけられるような職場環境の充実 ☐ 7　わからない、特にない ☐ その他 「その他」を選択された場合にご記入ください。

<出産・子の誕生に関する質問>

問９　あなたは、全部で何人の子どもが欲しいですか。既にお子さんがいる場合は、そのお子さんも含めてお	○ 1　0人（問９－１へ）　○ 2　1人　○ 3　2人　○ 4　3人　○ 5　4人 ○ 6　5人以上　○ 7　わからない

答えください。（１つだけ選択）

問９－１　（問９で「１０人」とお答えの方へ）あなたが子どもを欲しくないのはなぜですか。（３つまで選択可）

3個まで選択可能です。

- ☐ 1　子どもが苦手だから
- ☐ 2　子どもがいなくても別に困らないから
- ☐ 3　子育てが大変そうだから
- ☐ 4　自分や夫婦の生活を大切にしたいから
- ☐ 5　仕事または学業に打ち込みたいから
- ☐ 6　お金がないから
- ☐ 7　時間がないから
- ☐ その他

「その他」を選択された場合にご記入ください。

問10　実際のあなたのお子さんの数は何人ですか。（１つだけ選択）

- ○ 1　０人
- ○ 2　１人
- ○ 3　２人
- ○ 4　３人
- ○ 5　４人
- ○ 6　５人以上

問10－１　（問９よりも問10で答えた子どもの数が少ない方にお聞きします。）　あなたは、今よりも子どもを増やしたいと思いますか。（１つだけ選択）

- ○ 1　希望する子どもの数になるまで子どもを増やしたい
- ○ 2　今よりも子どもは増やすが、希望する子どもの数までは増やさない（増やせない）（問10－２へ）
- ○ 3　今よりも子どもは増やさない（増やせない）（問10－２へ）
- ○ 4　わからない

問10－２　（問10－１で「２」または「３」とお答えの方へ）希望する数まで、または今よりも子どもを増やさない（増やせない）理由は何ですか。（あてはまるものすべてを選択）

- ☐ 1　子育てや教育にお金がかかりすぎるから
- ☐ 2　保育サービスが整っていないから
- ☐ 3　雇用が安定しないから
- ☐ 4　働きながら子育てができる職場環境がないから
- ☐ 5　自分の昇進・昇格に差し支えるから
- ☐ 6　家が狭いから
- ☐ 7　子どもがのびのび育つ社会環境でないから
- ☐ 8　自分や夫婦の生活を大切にしたいから
- ☐ 9　自分または配偶者が高年齢で、産むのが嫌だから
- ☐ 10　育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから
- ☐ 11　妊娠・出産のときの身体的・精神的な苦痛が嫌だから
- ☐ 12　健康上の理由から
- ☐ 13　欲しいけれども妊娠しないから
- ☐ 14　配偶者の家事・育児への協力が得られないから

☐ 15 配偶者が望まないから

☐ 16 特にない

☐ その他

「その他」を選択された場合にご記入ください。

問11 あなたは、次のどのようなことがあれば、皆が安心して希望どおり子どもを持てるようになると思いますか。（あてはまるものすべてを選択）

※小１の壁…子どもが小学校に上がる際、公的な学童保育の預かり時間が保育園よりも短くなることで直面する社会的な問題のことを指します。

☐ 1 妊娠中・出産後も同じ勤務先や再就職先で就業できる環境がある

☐ 2 希望どおり産休や育休が取得できる

☐ 3 勤務先に育児短縮勤務制度がある

☐ 4 自分もしくはパートナーの勤務先の長時間勤務の削減など働き方が見直される

☐ 5 パートナーの協力・理解が得られる

☐ 6 身近に仕事と子育てを両立している手本となる人がいる

☐ 7 いわゆる「小１の壁※」が解消される

☐ 8 自分もしくはパートナーへの転勤への配慮がなされる

☐ 9 居住する自治体で、妊娠・出産・子育てまで一貫した支援がなされている

☐ 10 出産する病院が近くにある

☐ 11 産後ケア・産後うつへの支援・取組がなされている

☐ 12 幼稚園・保育園・認定こども園などへの入園の見通しが立っている

☐ 13 理由を問わず子どもを預けられるサポート体制（病児保育等）が整備されている

☐ 14 きめ細かいニーズに対応した多様な主体から育児支援サービスが得られる

☐ 15 妊娠や子連れで外出しやすい施設やサービスが地域に整っている

☐ 16 祖父母等との近居・同居等により祖父母等からの支援が得られる

☐ 17 わからない、特にない

☐ その他

「その他」を選択された場合にご記入ください。

問12 あなたは、次のどのような行政による経済的支援があれば、皆が安心して希望どおり子どもを持てるようになると思いますか。（あてはまるものすべてを選択）

☐ 1 出産・妊娠に対する補助

☐ 2 幼稚園・保育所などの費用の補助

☐ 3 ベビーシッター等のサービス利用費の補助

☐ 4 高等教育までを視野に入れた将来の教育費に対する補助

☐ 5 子どもの医療費の軽減

☐ 6 子どもがいる世帯の公共交通機関における交通費の軽減

☐ 7 わからない、特にない

☐ その他

「その他」を選択された場合にご記入ください。

<子育てに関する質問>

※ お子さんがいない方は、問15のみ回答してください。

問13 あなたは、子育てに楽しさを感じるときが多いですか、それともつらさを感じるときが多いですか。（１つだけ選択）

- ○ 1 楽しさを感じるときの方がかなり多い
- ○ 2 楽しさを感じるときの方がやや多い
- ○ 3 つらさを感じるときの方がやや多い
- ○ 4 つらさを感じるときの方がかなり多い
- ○ 5 わからない

問14 あなたが、子育てをしていて、自分にとって負担に思うことはどんなことですか。（あてはまるものすべてを選択）

- □ 1 子育てによる身体の疲れ
- □ 2 子育てによる精神的疲れ
- □ 3 子育てにかかる出費
- □ 4 自分の自由な時間が持てない
- □ 5 夫婦で楽しむ時間がない
- □ 6 仕事が十分にできない
- □ 7 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない
- □ 8 子どもが病気のとき
- □ 9 負担に思うことは特にない
- □ その他

「その他」を選択された場合にご記入ください。

問15 あなたは、子育てを支援する施策として何が重要だと思いますか。（あてはまるものすべてを選択）

- □ 1 教育費の支援、軽減
- □ 2 小児医療の充実
- □ 3 公園など、子どもを安心して育てられる環境の整備
- □ 4 雇用の安定
- □ 5 企業のワーク・ライフ・バランス政策を充実させること
- □ 6 男性の育児休業の取得促進
- □ 7 育児休業中の所得保障の充実
- □ 8 育児休業や短時間勤務などの制度利用がキャリアのハンデとならないための取組
- □ 9 出産・育児による休職後の職場復帰の保障の充実
- □ 10 子育ての経済的負担を軽減するための手当の充実や税制上の措置
- □ 11 ひとり親家庭への支援の充実
- □ 12 ３人以上子どもがいる世帯への支援の充実
- □ 13 子どものいる世帯への住宅費の支援

☐ 14 子どもを産み育てることの喜び、楽しさの啓発

☐ 15 子どもに対する犯罪の防止など、地域における治安の確保

☐ 16 わからない、特にない

☐ その他

「その他」を選択された場合にご記入ください。

◆質問はこれで終わりです。この下にある「回答内容確認」ボタンを押し、次画面で確認後に「回答する」ボタンを選択してください。「回答完了」（到達番号・問合せ番号が表示される）の画面が表示されましたら、回答は終了です。ご協力いただきありがとうございました。

回答内容確認　　回答一時保存確認

ご利用にあたり

サイトマップ

ページの先頭へ

Copyright © 2020 東京電子自治体共同運営協議会. All Rights Reserved.

２．　市ホームページにおける本アンケート調査の案内

長期ビジョン策定に向けたＷＥＢアンケート調査

はじめに

アンケート調査へのご協力のためにアクセスいただき、ありがとうございます。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本ページをお読みいただいたうえで、ページ下部の「回答はコチラ」から回答画面にお進みくださいますようお願いいたします。

アンケートの概要

目的

本市の基本構想・基本計画である「八王子ビジョン2022」の基本計画部分が、令和4年度（2022年度）に計画期間を終えるため、次期最上位計画として令和22年（2040年）を展望した「長期ビジョン」の策定に着手しています。

「長期ビジョン」は、市民の皆さんとともに未来の“ありたい姿”を描き、実現していくために策定するものです。策定にあたっては、多くの市民の皆さんから意見をお聞きしたいと考えており、本WEBアンケート調査もその一環として実施しています。

「長期ビジョン」の詳細については、本ページ下部の「関連リンク」からご覧いただけます。

対象

市内にお住まい方、在勤又は在学する方、本市に関わりのある方

回答期間

令和3年（2021年）3月1日（月）～3月31日（水）

所要時間

10分程度

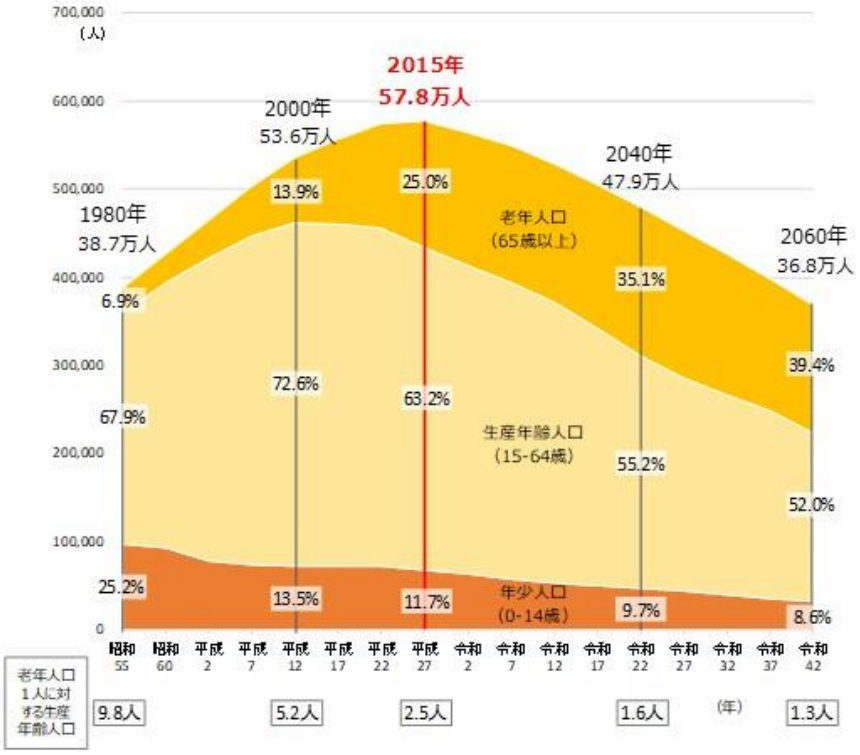
参考資料（回答前にお読みください。）

2040年頃までの社会環境の変化等

人口減少・人口構造の変化

八王子市の将来人口推計（出生率・移動率ともに変わらないと仮定した場合のシミュレーション）

※出生率は平成27年、移動率は平成24年１月～平成29年1月の数値を基に推計



- 現在の状況が続くと、2040年の人口は47.9万人になると推計しています。
- 生産年齢人口（15～64歳）の構成比は、2015年に63.2%でしたが、2040年の推計では55.2%となり、１人の老年人口（65歳以上）を１．６人の生産年齢人口（15～64歳）で支えることになります。

＜参考＞　本市では、持続可能な都市として、将来にわたり活力を維持していくため、「八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、2060年の人口45.1万人の維持を目標に取り組んでいます。

人口減少・人口構造の変化が与える影響

- **働き手の減少による経済規模の縮小**
- **社会保障費一人あたりの負担が増加**
- **地域コミュニティの希薄化による地域活力の低下**
- **税収の減少により行政サービスの維持に支障**
- **公共施設維持管理コストの負担増加**

など様々な影響が予測されています。

科学技術の進展

2040年頃までに、日常生活の利便性向上や社会課題の解決につながる様々な科学技術の実現が予測されています。

A4	遠隔で、認知症などの治療や介護が可能になる超分散ホスピタルシステム
A5	あらゆる言語をリアルタイムで翻訳・通訳できるシステム
A6	遠隔地の人やロボットを自在に操れる身体共有技術
A7	視覚障がい者や高齢者が安心して自由に移動できるナビゲーションシステム
A8	自律型都市におけるエネルギーコントロール

出典：文部科学省「令和２年版 科学技術白書」より抜粋

その他

その他にも次のようなことが想定・予測されています。

【防　　災】　今後30年間に70%の確率で首都直下地震が発生する。

【インフラ】　老朽化したインフラ・公共施設が大幅に増加する。

【公共交通】　乗合バスなどの廃止路線が増加する。

【都市空間】　都市のスポンジ化が進行する。

【介　　護】　介護人材の需給ギャップが拡大する。

【高 齢 者】　一人暮らし高齢者が増加する。

八王子市の将来推計をさらに詳しく知りたい方は、本ページ下部の「関連リンク」から『八王子基礎データ集～はちおうじを知り、未来を描く～』をご覧ください。
（人口や財政、現状の各行政分野の主要データ等も掲載しています。）

回答にあたっての注意点

1 ブラウザ、スマートフォン等の「戻る」機能は使えません。

2 セキュリティー確保のため、調査票画面を開いてから60分で接続が切れる仕組みになっておりますので、時間内に回答くださるようお願いいたします。

※ 60分を超える場合や入力を一時中断する場合は、以下の方法で入力内容の一時保存をしてください。

（1） 入力画面下部の「回答一時保存確認」ボタンを選択します。

（2） [次画面]「再開用パスワード」を入力後「回答一時保存」ボタンを選択します。

（3） [次画面]表示された「一時保存番号」と「再開用URL」を控えておきます。

（4） 再開時は、控えておいた「再開用URL」のページで、「再開用パスワード」と「一時保存番号」を入力することで再開することができます。

3 すべての回答が終わりましたら「回答内容確認」ボタンを押し、確認後に「回答する」ボタンを選択してください。「回答完了」（到達番号・問合わせ番号が表示される）の画面が表示されましたら、 回答は終了です。

4 通信サービスの接続料金は利用者様の負担となります。

回答はコチラから

パソコンからのご回答（外部リンク）

スマートフォン・タブレット端末からのご回答（外部リンク）

関連リンク

「長期ビジョン（（仮称）はちおうじ未来デザイン2040）」の策定について

八王子基礎データ集～はちおうじを知り、未来を描く～

このページに掲載されている情報のお問い合わせ先

未来デザイン室 〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号 電話 042-620-7307 ファックス 042-627-5939

あなたのみちを、
あるけるまち。
八王子

長期ビジョン策定に向けたＷＥＢアンケート調査報告書

令和３年（2021 年）７月

発　行　八王子市　未来デザイン室
〒192-8501　八王子市元本郷町三丁目 24 番１号
電　話　０４２－６２６－３１１１（代表）
０４２－６２０－７３０７（直通）
ＦＡＸ　０４２－６２７－５９３９